

# 高校教員、大学教員に対する 反転授業に関する意識調査報告書

eラーニング戦略研究所  
eLearning Strategy Research Institute

株式会社デジタル・ナレッジ <http://www.digital-knowledge.co.jp/>

# 目次

1. 調査概要 .....	3
2. 回答者属性 .....	4
3. まとめ .....	7
4. アンケート結果にみるポイント .....	8
5. 反転授業に関するアンケート調査結果 GTグラフ .....	11
GT表 .....	39
クロス表 .....	67
クロス%表 .....	95

## 2. 回答者属性

### アンケート調査概要

調査期間 : 2014年1月10日(金)～1月14日(火)

調査方法 : Webアンケート方式

調査対象 : 全国の高校教員・大学教員 計100名

職業別内訳 : 高校教員50名(50%)、大学教員50名(50%)

性別内訳 : 男性84名(84%)、女性16名(16%)

年代別内訳 : 20～29歳 1名(1%)、30～39歳 19名(19%)、40～49歳 24名(24%)、50～59歳 42名(42%)、60～69歳 14名(14%)

### 職業別内訳

		N	%
全体		100	100.0%
1	高等学校教員	50	50.0%
2	大学教員	50	50.0%

# 1. 調査概要

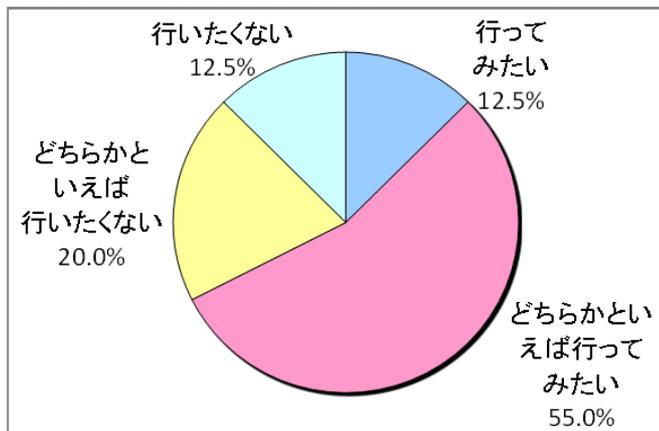
eラーニング戦略研究所は、2014年1月、全国の高校教員、大学教員計100名を対象に、反転授業(※1)に関するアンケート調査を実施しました。(有効回答数100)

その結果、約半数の教員が反転授業について認識はしているものの、そのうち「反転授業を行っている」は2.4%、「過去に行っていた」は7.3%に留まり、その実施導入率は極めて低いことが分かりました。しかしながら、反転授業を知る教員の約7割が、その導入に前向きであることも明らかとなり、従来の授業スタイルからの脱却や学習効果の向上などの面で、反転授業に対する期待が高まっている様子が読み取れます。

反転授業のメリットとしては、「授業をディスカッションや思考能力育成の時間にレベルアップできる」がもっとも多く、次いで「自宅学習時間の増加」「自宅学習の習慣化」「授業で応用を学べる」「生徒/学生がわからないところを事前に明確にできる」「生徒/学生が自宅で授業ビデオを繰り返し視聴できる」などのポイントが高い結果となりました。

本調査ではそのほか、反転授業の課題やその改善案、MOOCs(※2)などの新しい教育スタイルについての教員の本音などが明らかとなり、反転授業と今後の教育の動向が注目される結果となっています。

設問2-3. 今後反転授業を行ってみたいですか？



## (※1) 反転授業……

生徒/学生が事前に授業ビデオ(説明型の講義動画)をパソコン・タブレットなどを使って自宅で視聴し、実際の教室では予習でわからなかった点を教え合ったり、応用問題を解いたり、議論や実習などを行う授業のスタイル。

## (※2) MOOCs ……

大学などの高等教育機関がインターネットを通じて講義を配信・公開するサービスの総称。場所や時間、費用、学力などの条件に縛られることなく、世界トップクラスの大学の講義や著名な学者による講義などを、多くの場合無料で視聴できる。

## 性別内訳

		N	%
全体		100	100.0%
1	男性	84	84.0%
2	女性	16	16.0%

## 年代別内訳

		N	%
全体		100	100.0%
1	20～29歳	1	1.0%
2	30～39歳	19	19.0%
3	40～49歳	24	24.0%
4	50～59歳	42	42.0%
5	60～69歳	14	14.0%

## 都道府県別

全体		N	%	全体		N	%
		100	100.0%			100	100.0%
1	北海道	6	6.0%	25	滋賀県	0	0.0%
2	青森県	2	2.0%	26	京都府	4	4.0%
3	岩手県	0	0.0%	27	大阪府	11	11.0%
4	宮城県	0	0.0%	28	兵庫県	6	6.0%
5	秋田県	1	1.0%	29	奈良県	3	3.0%
6	山形県	0	0.0%	30	和歌山県	0	0.0%
7	福島県	1	1.0%	31	鳥取県	1	1.0%
8	茨城県	1	1.0%	32	島根県	1	1.0%
9	栃木県	0	0.0%	33	岡山県	1	1.0%
10	群馬県	1	1.0%	34	広島県	3	3.0%
11	埼玉県	4	4.0%	35	山口県	0	0.0%
12	千葉県	1	1.0%	36	徳島県	0	0.0%
13	東京都	12	12.0%	37	香川県	0	0.0%
14	神奈川県	10	10.0%	38	愛媛県	0	0.0%
15	新潟県	2	2.0%	39	高知県	0	0.0%
16	富山県	0	0.0%	40	福岡県	5	5.0%
17	石川県	1	1.0%	41	佐賀県	1	1.0%
18	福井県	1	1.0%	42	長崎県	0	0.0%
19	山梨県	0	0.0%	43	熊本県	1	1.0%
20	長野県	2	2.0%	44	大分県	0	0.0%
21	岐阜県	0	0.0%	45	宮崎県	0	0.0%
22	静岡県	3	3.0%	46	鹿児島県	5	5.0%
23	愛知県	4	4.0%	47	沖縄県	2	2.0%
24	三重県	4	4.0%	48	海外	0	0.0%

### 3. まとめ

生徒/学生が予め授業ビデオ(講義動画)を自宅で視聴し、実際の教室では応用問題や議論、実習などを行う「反転授業」。一方通行型の授業スタイルを変えるとともに、学習時間の増加・理解度向上などの効果が期待できると、今注目を集めています。アメリカではすでに反転授業への取り組みが積極的に進められていますが、日本国内における認知度や導入状況について、全国の高校教員、大学教員計100名を対象にアンケート調査を実施しました。

その結果、約半数の教員が反転授業について認識はしているものの、そのうち「反転授業を行っている」は2.4%、「過去に行っていた」は7.3%に留まり、その実施導入率は極めて低いことが分かりました。しかしながら、反転授業を「知っている」「聞いたことはある」と答えた教員の約7割が、反転授業の導入に前向きであることも明らかとなりました。反転授業賛成派の教員からは、「現行の授業スタイルに限界を感じている(高校教員・50代男性)」「(反転授業で)学習効果が明らかに高まる(大学教員・30代男性)」「思考力を養う効果的な方法(大学教員・40代女性)」「講義は動画でもよい、議論こそ授業として意味がある(大学教員・50代男性)」といった意見が挙げられ、従来の授業スタイルからの脱却や学習効果の向上などの面で、反転授業に対する期待が高まっている様子が読み取れます。

その一方で、“学習効果があるかどうか疑問”“事前準備をする時間がない”“環境が整っておらず時期尚早”などを理由に、反転授業への興味関心度が低い教員も全体の半数近くに上ることも明らかとなりました。ただし、その中には「詳細を知らない(大学教員・50代女性)」「経験してみないとメリット・デメリットが判断できない(高校教員・50代男性)」など、反転授業についてよくわからないという教員も含まれており、反転授業の認知度が上昇し理解が深まることによって、興味関心度が高まる余地があるものと考えられます。

また、アンケート結果からは、“授業ビデオ作成など事前準備の負担”“生徒/学生が自宅学習できるかどうか”“自宅学習のためのネット環境・端末をどうするか”といった懸念や問題意識が教員たちの中に根強くあることが浮き彫りとなっており、こうした課題をクリアできるかどうか、今後の教育を左右するひとつのカギとなりそうです。

基礎知識を習得の上、その知識を活かすための応用力や高次思考能力を育成したいが、授業時間が足りない——こうしたジレンマはしばしば学校教育の問題点として議論されてきました。反転授業の効果的な活用により、こうした問題が解決され、子供たちの考える力や真の学力を伸ばす起爆剤となるのかどうか、今後の動向が注目されます。

## 4. アンケート結果にみるポイント

- 意外に知られていない反転授業、「知っている」「聞いたことはある」は41%
- 実施導入率はさらに低く、「現在行っている」「過去に行っていた」合わせて9.7%に留まる

アンケートの結果、反転授業を「知っている」「詳しくは知らないが聞いたことはある」があわせて41%となった。この41%の教員に対し、反転授業の実施経験を尋ねたところ、90.2%が「行ったことはない」と回答、「行っている」は2.4%、「過去に行っていた」は7.3%となった。

現在反転授業を「行っている」と回答した30代の大学教員で、大学院における地域環境に関する授業に導入しているケースでは、学生の反応は「積極的に議論している」、学習効果については「授業内容に対する興味が深まっている」とし、学生たちの積極的な議論展開・興味関心の深まりなど、一定の効果を実感しているようだ。

- 教員の約7割が「反転授業を行ってみたい」と回答
- 反転授業への不安第1位、高校教員は「ビデオ教材作成」、大学教員は「学生が自宅学習をしてこない」

反転授業を「現在は行っていない」「行ったことはない」と答えた教員に対し、今後反転授業を行ってみたいか尋ねた結果、「行ってみたい」「どちらかといえば行ってみたい」があわせて67.5%となった。一方、反転授業を行う上での不安を尋ねたところ、「生徒/学生が事前に自宅学習をしてこない」がもっとも多く62.5%、次いで「教材作成などの事前準備に時間をとられてしまう」55.0%、「学力格差の広がり」32.5%と続いた。

以上の結果から、約半数の教員が反転授業について認識しているものの、その実施導入率は極めて低いことが分かった。しかしながら、反転授業を知る教員の約7割がその導入に前向きであることも明らかとなった。反転授業への不安材料としては、高校教員は「教材作成などの事前準備に時間をとられる」63.6%がもっとも多いほか、「教材作成の方法がわからない」も31.8%に上り、ビデオ教材作成に関する不安感・負担感が強いことが読み取れる。また、大学教員は「生徒/学生が事前に自宅学習をしてこない」77.8%が最多となり、自宅学習率が低い現代の大学生事情がうかがえる結果となった。

- 反転授業最大のメリットは「授業をディスカッションや思考能力育成の時間にレベルアップできる」
- 従来の常識を打ち破り、真の学力を伸ばす教育変革へ期待感

反転授業について「大変興味がある」「どちらかといえば興味がある」と回答した教員は全体の54%に上った。その理由としては、「現行の授業スタイルに限界を感じている(高校教員・50代男性)」「学習効果が明らかに高まるから(大学教員・30代男性)」などが挙げられた。また、「思考力を養う効果的な方法だと思う(大学教員・40代女性)」「講義は動画でもよい、議論こそ授業として意味があるから(大学教員・50代男性)」など、学生/生徒の自主性や思考力、議論・表現能力の向上に期待する声が多かった。

反転授業のメリットについて尋ねた質問でも、「授業をディスカッションや思考能力育成の時間にレベルアップできる」がもっとも多く36%、次いで「学生/生徒の自宅での学習時間増加」「自宅学習の習慣化」「授業で応用を学べる」がそれぞれ28%ずつとなった。そのほか、「生徒がわからないところを事前に明確にできる」「学生/生徒が自宅で授業ビデオを繰り返し視聴できる」のポイントも高かった。

- 反転授業に興味がない理由は「学習効果への疑問」「事前準備への不安」「環境面が整っていない」など
- 「反転授業についてよくわからない」教員も多く、認知度上昇により興味関心が高まる可能性も

一方、反転授業に「興味がない」「どちらともいえない」と回答した教員は全体の46%で、その理由は“学習効果があるかどうか疑問”“事前準備をする時間がない”“環境が整っておらず時期尚早”などだった。ただし、その中には「詳細を知らない(大学教員・50代女性)」「経験してみないとメリット・デメリットが判断できない(高校教員・50代男性)」など、反転授業についてよくわからないという教員も含まれていた。

以上の結果から、従来の授業スタイルからの脱却や学習効果の向上などの面で、反転授業に対する期待が高まっている様子を読み取れる。反転授業に興味のない教員の中には、「反転授業についてよくわからない」という声も多いことから、反転授業の認知度が上昇し理解が深まることによって、興味関心度が高まる余地があるものと考えられる。

■高校教員・大学教員が考える反転授業の課題トップ3は、  
■「授業ビデオ作成の負担」「自宅学習の習慣化」「自宅学習のためのネット・端末問題」

最後に、反転授業の課題と改善策について尋ねた。

課題としてもっとも多かったのは、「授業ビデオ作成における教員側の負担」37%。忙しい教員たちにとって「授業ビデオ作成」という新たな仕事はかなりの負担となるようだ。対策としては、「外部業者に委託(大学教員30代女性)」「専門部署を校内に作る(高校教員・50代男性)」「コンテンツのフォーマット・ツールの共有化(大学教員・40代男性)」などが挙げられた。

次に多かった課題は、「学生/生徒の自宅学習が難しい」31%。対策としては、「授業前に確認テストを実施(大学教員・40代男性)」「自宅学習の点数化(大学教員・60代男性)」などが挙げられた。一方で、「自宅学習は本人次第(高校教員・60代男性)」「小学校から定着化を図る必要がある(高校教員・50代男性)」といった声も見られた。

3番目に多かった課題は、「学生/生徒宅のインターネット整備やタブレットの費用負担の問題」26%。「無料配布(大学教員・50代男性)」「授業料に含める(大学教員・30代男性)」など、学校側が負担、学生/生徒側が負担という意見のほか、「レンタルやリースで対応(高校教員・40代男性)」「国が教育にもっとお金をかけるべき(高校教員・50代男性)」「一斉購入を行いなるべく安価に導入する(大学教員・40代男性)」など様々な意見が挙げられた。

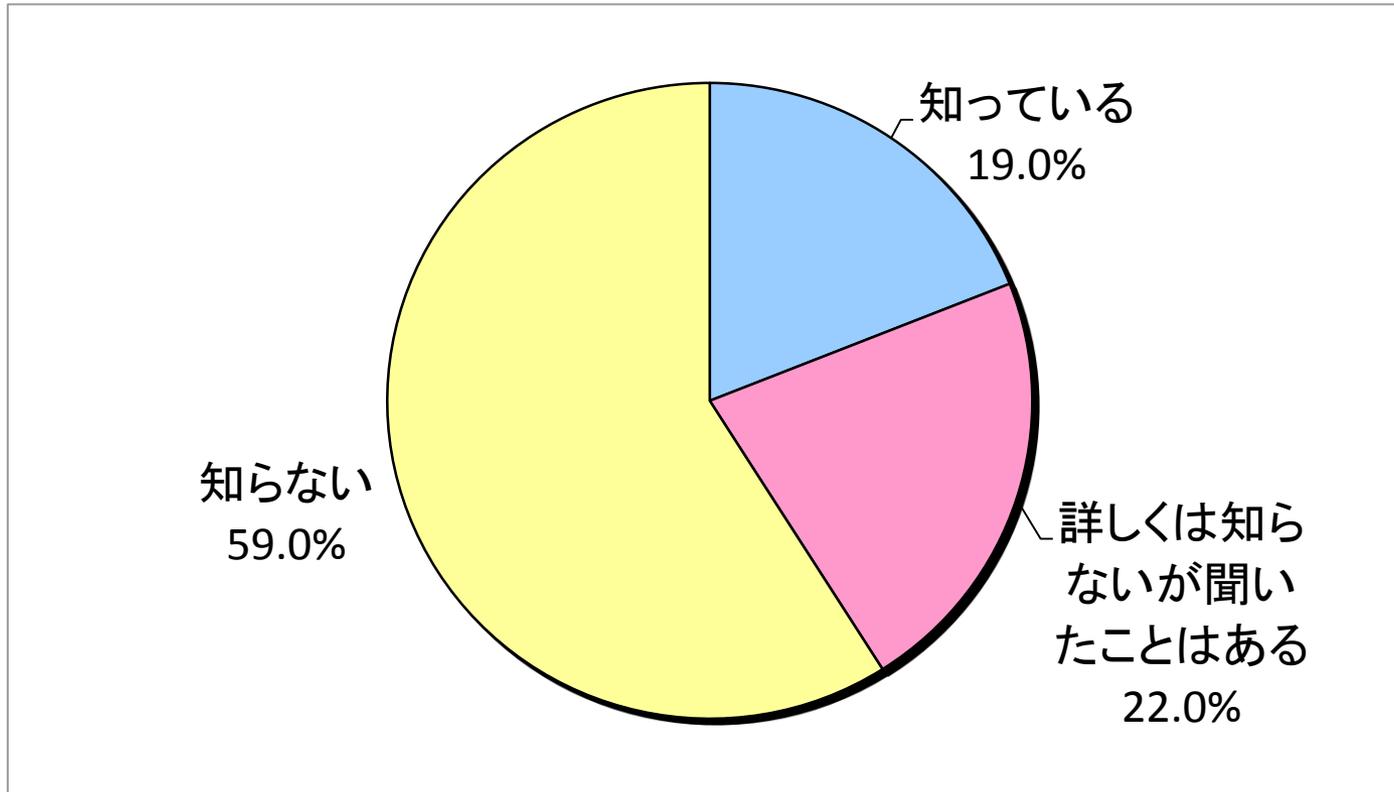
「興味・関心のある者がどんどん学習を進められる仕組みには大いに賛成(高校教員・40代男性)」「科学的見地から効果測定を行う必要があると思うが、教育効果を上げる取り組みが開発されることは基本的には望ましい(大学教員・30代男性)」「能力のない学生は卒業させないなど、本来の教育の在り方に移行する(大学教員・60代男性)」など、前向きな意見が多く見られた今回のアンケート。一方で、「授業ビデオ作成など事前準備の大変さ」「学生/生徒が自宅学習できるかどうか」「自宅学習のためのネット環境・端末をどうするか」といった懸念は教員たちの中に根強くある印象を受けた。こうした課題をクリアできるかどうか、今後の教育を左右するひとつのカギとなりそうだ。

# GT グラフ

---

## ■設問1

反転授業をご存知ですか？

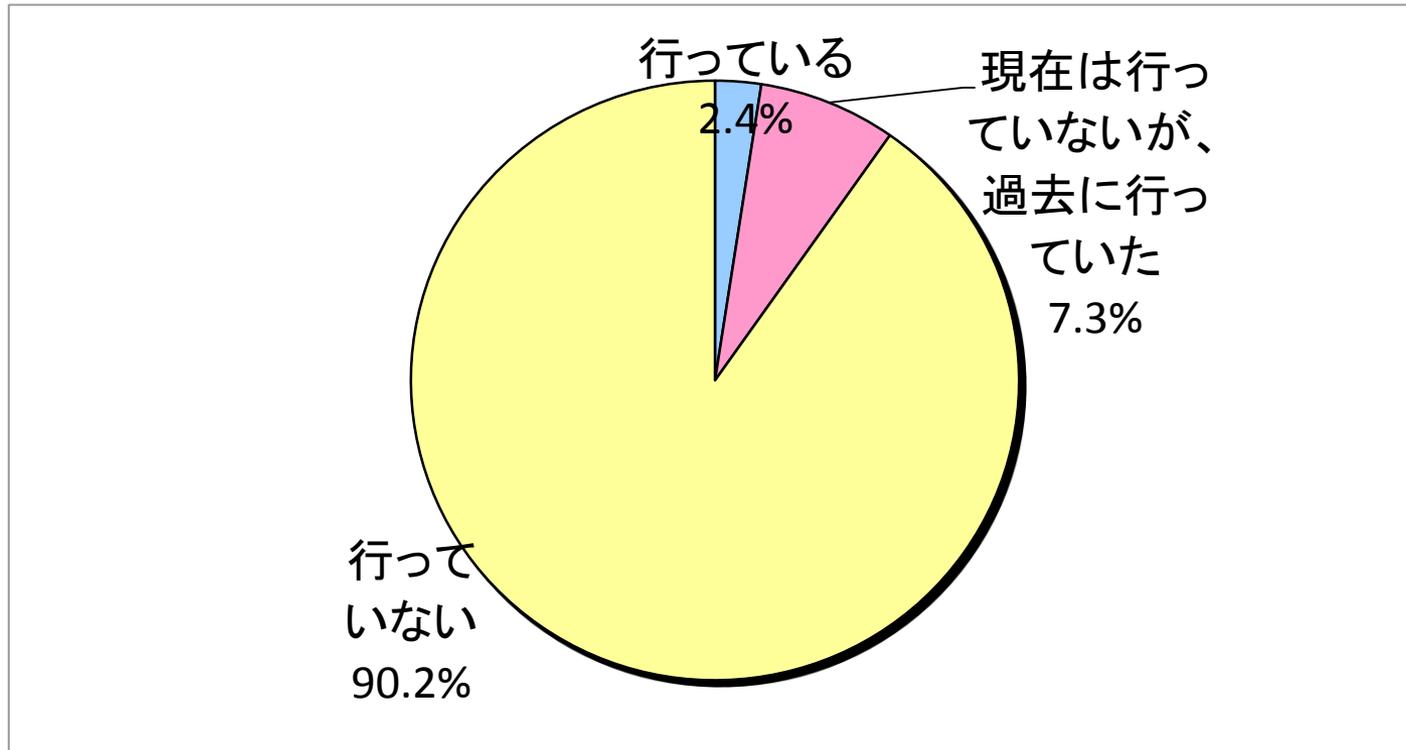


N=100

- ・「知っている」「聞いたことはある」があわせて41%
- ・過半数が反転授業について「知らない」と回答。

## ■設問2

設問1で「知っている」「聞いたことはある」と答えた方にお聞きします。  
あなたの学校では現在、反転授業を行っていますか？



N=41

・90%以上が「反転授業を行ったことはない」と回答。

## ■設問2-1

設問2で「行っている」と答えた方にお聞きします。  
その実施概要と効果についてお答えください。

【実施概要】	【生徒の反応】	【保護者の反応】	【先生ご自身が 感じる効果】
大学院で地域環境に関する授業	積極的に議論している	大学院生の場合保護者とほとんど連絡を取らないのでわからない	授業内容に対する興味が深まっている気がする

回答者: 大学教員(30代女性)

N=1

- ・反転授業の実施継続者は、学生たちの積極的な議論・興味関心の深まりなど、一定の効果を実感している。

## ■設問2-2

設問2で「過去に行っていた」と答えた方にお聞きします。  
反転授業を行わなくなった理由は何ですか？

従来の方が教員がなれているので(高校教員・50代男性)

受験指導をするには時間がかかりすぎ、馴染まない(高校教員・50代男性)

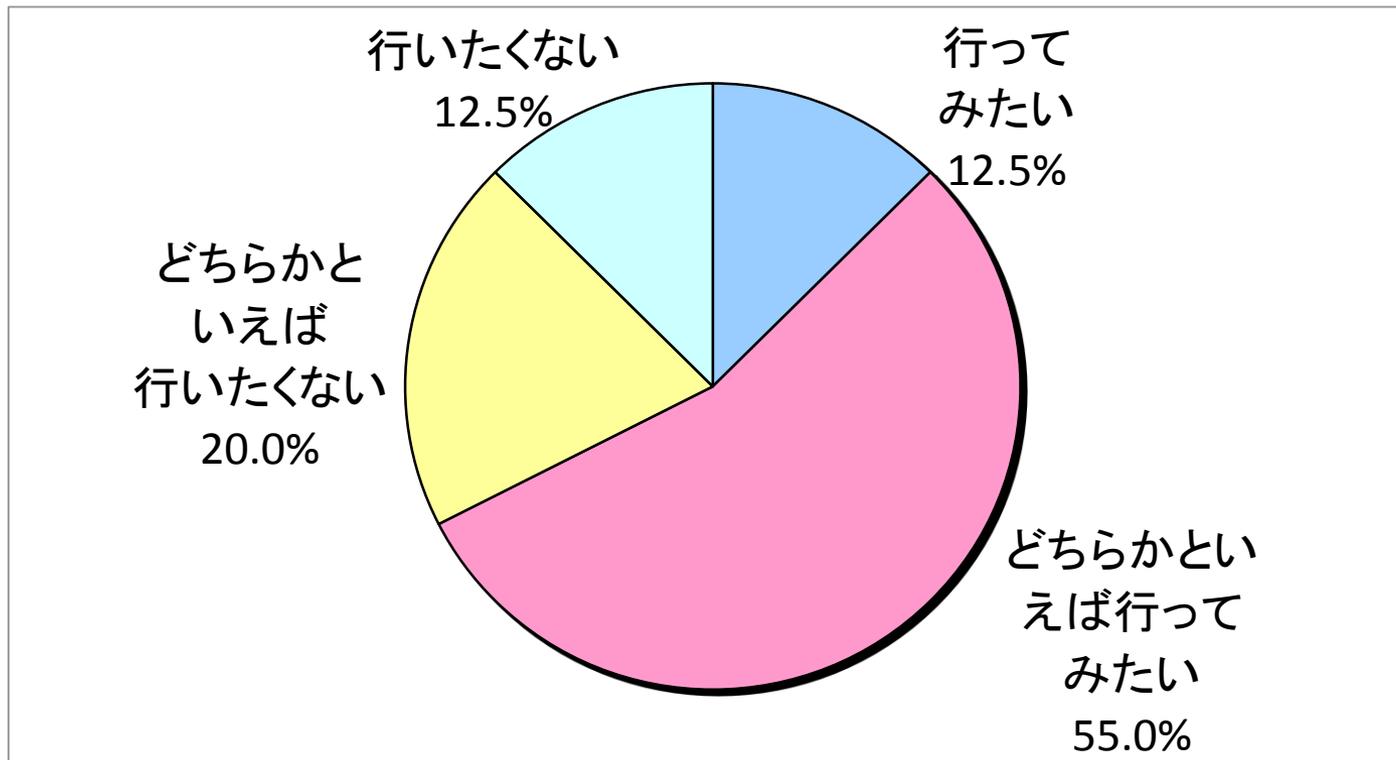
学生の数名が授業の予習をしてこないから(大学教員・40代男性)

N=3

- ・反転授業を「現在は行っていないが過去に行っていた」のは3名。
- ・止めた理由は、「反転授業に慣れなかった」「受験指導には不向き」「学生が予習をしてこない」

## ■設問2-3

設問2で「過去に行っていた」「行っていない」と答えた方にお聞きします。  
今後反転授業を行ってみたいと思いますか？また、その理由をお答えください。



N=40

- ・「行ってみよう」「どちらかといえば行ってみよう」があわせて67.5%。
- ・反転授業を知っている教員の約7割がその導入に前向きである。

## <理由>

行ってみいたい	現在行っている授業は、反転授業に近いものだと思う(大学教員・50代女性)
	議論こそ、集まってすべきことなので(大学教員・40代男性)
	新しい試みとして、ぜひやってみいたい(大学教員・30代男性)
	やる気のない生徒に刺激を与えたいからです(高校教員・30代男性)
	今の形に限界を感じる(高校教員・50代男性)
どちらかといえば 行ってみいたい	昨今の学生は多分に自分の考えを構想したり人に伝えたりするのが苦手なので(大学教員・40代女性)
	学生が主体的に授業に関われるのでモチベーションが高まると思うが、宿題をしない学生が必ず出るので授業が成立するかどうかわからない(大学教員・30代女性)
	行いたい、授業時間はそのまま教員の負担が増すだけならば意味がない(大学教員・30代男性)
	すべての授業では無理でも、一部に取り入れることで、ここの定着度を理解し、補助することができるかも知れない(高校教員・50代男性)
	通常授業との差異を自身で確認したいから((大学教員・50代男性)
	どのような効果があるか興味がある(高校教員・30代男性)
	受験指導と関係のない学校内での活動でやってみいたい(高校教員・50代男性)
	一方的な講義形式ではもはや限界があり、教員も無力感に苛まれているので、事態を打開する一助となる可能性にかけてみたいから(大学教員・50代男性)

アンケートから一部抜粋

- ・導入賛成の理由は、生徒/学生の意欲、思考力、議論・表現能力の向上への期待など。
- ・「すべての授業は無理でも一部で取り入れたい」「受験と関係のない活動でやってみいたい」という声も。

## <理由>

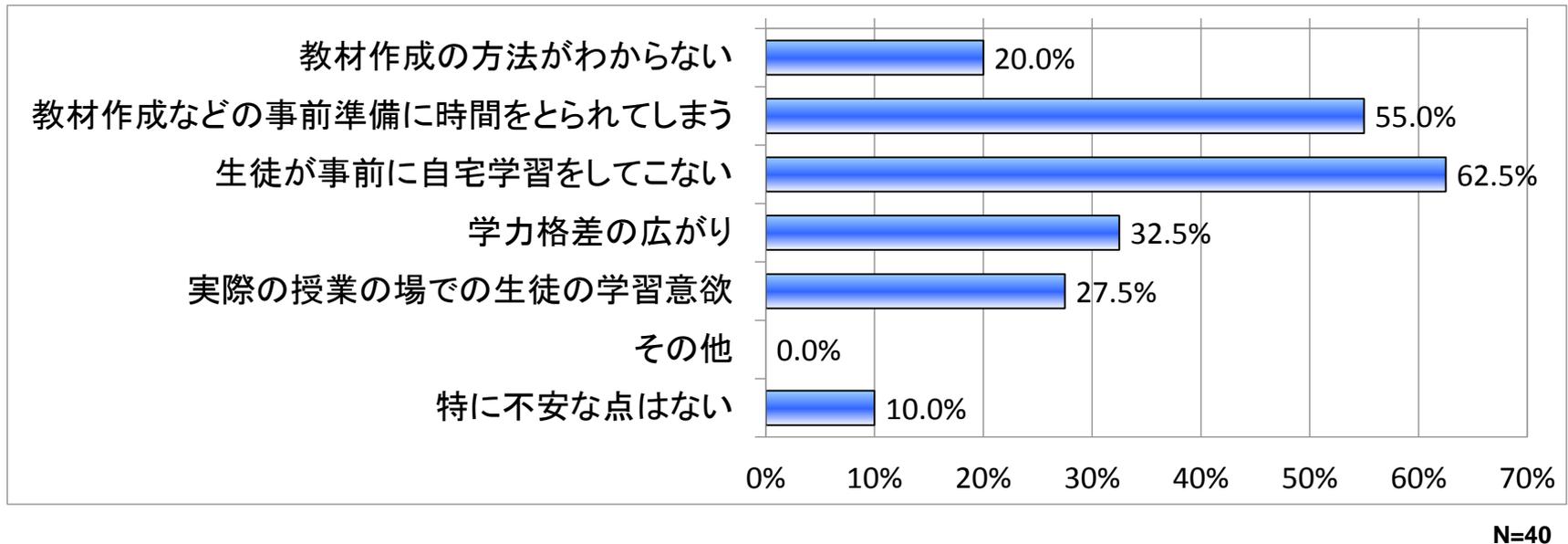
どちらかといえば 行ないたくない	あまり効果的とは思わないから(大学教員・40代女性)
	効果がどうなるかまだ曖昧(大学教員・50代男性)
	反転授業を行うための準備に要する時間をとれない(大学教員・40代男性)
	どうやっても今の日本の学生は勉強をしないと思う(大学教員・60代男性)
	生徒が、講義ビデオを事前に見てくるようには思わないから(高校教員・60代男性)
	未経験の領域なため(高校教員・50代男性)
行ないたくない	興味ない(大学教員・60代男性)
	効果なし(高校教員・60代男性)
	余裕がない(高校教員・50代女性)
	授業ではないから(高校教員・50代男性)
	実施しようと思わないので(高校教員・50代男性)

アンケートから一部抜粋

- ・導入反対の理由は、「効果がない」「準備時間がない」「生徒/学生が事前学習 に対応できない」が多い。

## ■設問2-4

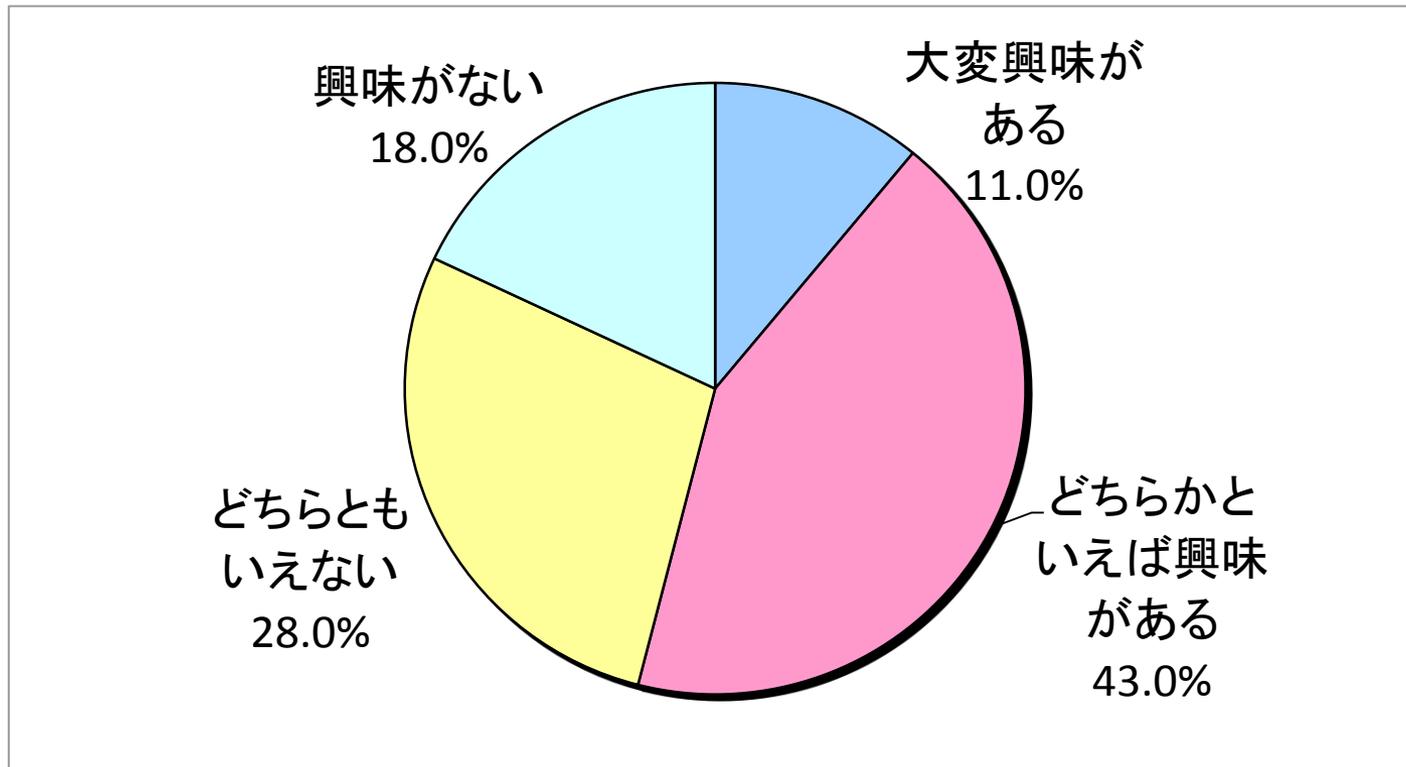
設問2で「過去に行っていた」「行っていない」と答えた方にお聞きします。  
今後反転授業を行うと仮定した場合、不安な点を教えてください。(複数回答可)



- ・「生徒/学生が事前に自宅学習をしてこない」がもっとも多く62.5%。
- ・次いで「教材作成などの事前準備に時間をとられてしまう」55.0%、「学力格差の広がり」32.5%。

### ■設問3

反転授業に興味はありますか？またその理由をお答えください。



N=100

- ・「大変興味がある」「どちらかといえば興味がある」があわせて54%。
- ・やや興味のある層が多い。

## &lt;理由&gt;

大変興味がある	一斉授業に限界を感じているから。(高校教員・50代男性)
	現在の授業スタイルに限界を感じている(高校教員・50代男性)
	大学でも活用したい(大学教員・40代男性)
	学習効果は明らかに高まるから(大学教員・30代男性)
	新しい教育活動の試みとして非常に興味深い。ディスカッションを行うにあたり知識の不足分をどこで行うかという点において非常に興味深い。(大学教員・30代男性)
	自分の考えをまとめたり他者の意見に評価を与えたりと、コミュニケーション能力向上が図れる(大学教員・50代男性)

アンケートから一部抜粋

- ・反転授業に大変興味があると答えた教員は、その理由として「現行の授業スタイルからの脱却」「学習効果の向上」などを挙げた。

## <理由>

どちらかといえば 興味がある	考える力を養うためには反転授業は有効であると思うから(高校教員・50代男性)
	思考力を養う効果的な方法だと思うから(大学教員・40代女性)
	従来の授業だと一方的になりがちだが、反転授業は学生主体で考える力や自主性を伸ばせると思う(大学教員・30代女性)
	講義は動画でもよい。議論こそ授業として意味があるから(大学教員・40代男性)
	ICT機器を利用した授業に興味がある(高校教員・50代男性)
	通常授業との教育効果の違いに興味がある(大学教員・50代男性)
	受け身の授業より理解が深まる気がする(大学教員・30代女性)
	自宅学習をしっかりこなせるだけの生徒の質が高くないと実現できないという壁があるが、それができるなら面白い授業ができると思う(高校教員・30代女性)
	大学ゼミなどで学生の基礎知識が足りずに議論が成熟しないことがあるので、そういう場合に使いやすそう(大学教員・30代男性)
	興味はあるが、今の学生に自宅で勉強する意欲があるか疑問(大学教員・60代男性)
	ディスカッションは大変よいがPCによる事前授業というのがPCにあまりに傾倒しすぎる(大学教員・50代男性)
	これから、パソコンでなくタブレットの普及によって、授業の形態のヴァリエーションが増えそうだから(高校教員・50代男性)
選択肢の通り、それ以上でもそれ以下でもない(大学教員・40代男性)	

アンケートから一部抜粋

・生徒/学生の自主性や思考力、議論・表現能力の向上に期待する声も多い。

## &lt;理由&gt;

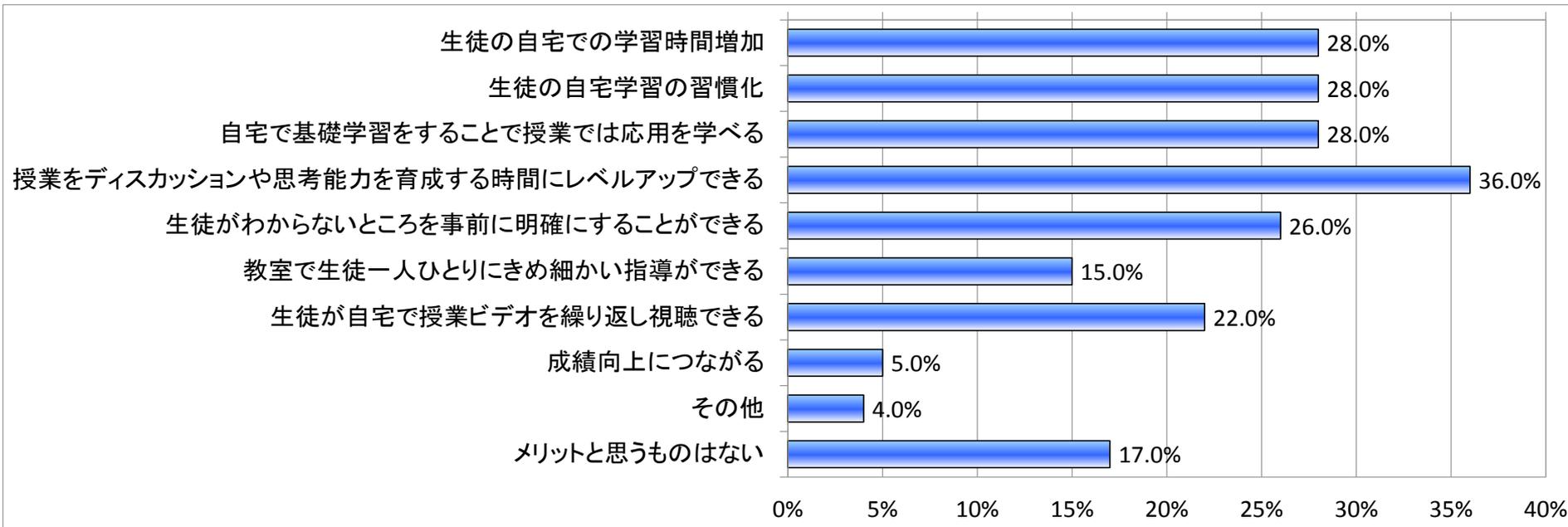
どちらともいえない	実際に授業効果があるのか疑問(高校教員・60代男性)
	少人数でのクラス編成をしなければ効果がないと思う(高校教員・50代男性)
	実習系の教科では効果が期待できない(大学教員・40代男性)
	教科内容による(大学教員・50代男性)
	詳細を知らないから(大学教員・50代女性)
	展開を経験してみないとメリット・デメリットが判断できない(高校教員・50代男性)
	コンテンツをどうするのか、という疑問がある(高校教員・40代男性)
	準備が必要になるが、時間ができるかどうかわからないから(高校教員・40代男性)
	大学生はアルバイトに忙しく自宅学習をしないので実現が難しい(大学教員・60代男性)
	よく詳細が分からないので。(高校教員・40代男性)
興味がない	今のところそのような環境にはないからできない(高校教員・60代男性)
	学びに対するモチベーションや家庭環境が様々なので、そうそう成功するわけがないと思う(高校教員・40代男性)
	今までやってきた授業を否定することになりそうだから(高校教員・50代男性)
	顔を合わせてする授業のほうが好きだから(大学教員・40代男性)
	効果ないと思うから(高校教員・60代男性)
	これだけの説明では…(高校教員・50代男性)
	余裕がない(高校教員・50代女性)

アンケートから一部抜粋

- ・「学習効果があるかどうか疑問」「事前準備をする時間がない」「環境が整っていない」が主な理由。
- ・「詳細を知らない」など、反転授業についてよくわからないという教員も少なくない。

## ■設問4

反転授業のメリットは以下のどれだと考えますか？（複数回答可）



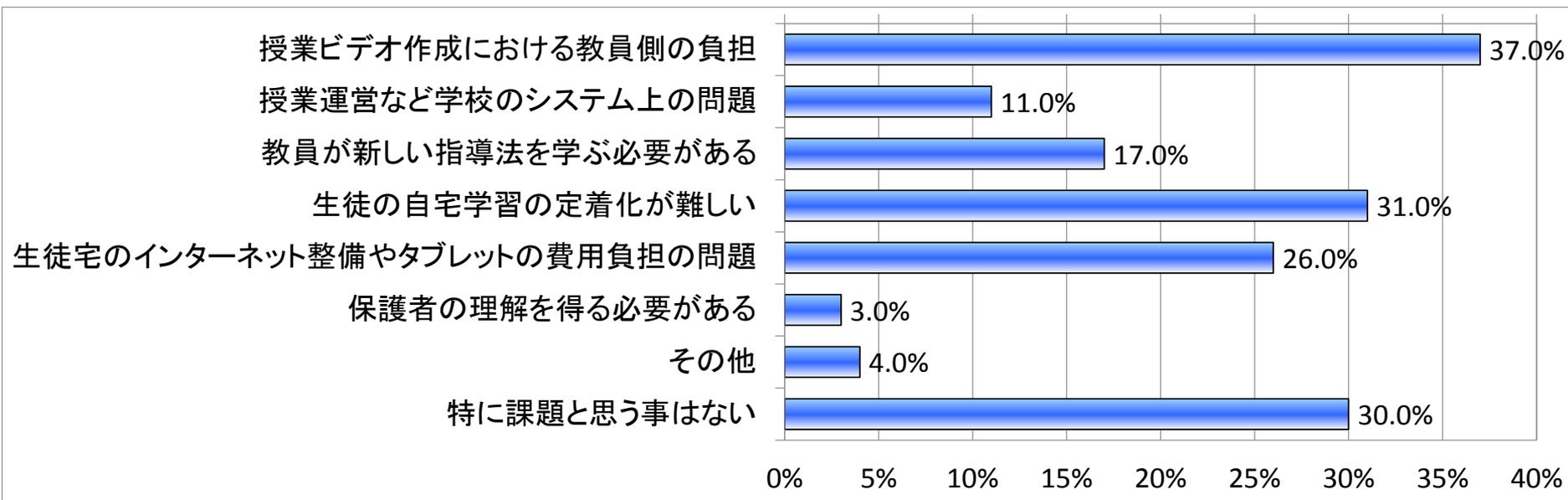
その他…学習に興味を持つようになる(高校教員・30代男性)、効果的な生徒には効果はあるがそういう生徒が多いとは限らない(高校教員・50代男性)、よくわかりません(高校教員・50代男性)、講義時間の効率化(大学教員・40代男性)

N=100

- ・「授業をディスカッションや思考能力育成の時間にレベルアップできる」がもっとも多く36%。
- ・「自宅学習時間の増加」「自宅学習の習慣化」「授業で応用を学べる」もポイントが高い。

## ■設問5

反転授業の課題は以下のどれだと考えますか？また、その改善案として考えられる事柄を教えてください。(複数回答可)



その他…それに向く生徒ばかりではない(高校教員・50代男性)、コンテンツの著作権に関すること(大学教員・40代男性)、このような実験的授業自体やめるべき(大学教員・60代男性)、よくわからない(高校教員・50代女性)

N=100

- ・「授業ビデオ作成における教員側の負担」37%、「生徒/学生の自宅学習が難しい」31%が多い。
- ・「特に課題はない」も3割に上った。

## ■「授業ビデオ作成における教員側の負担」についての改善案

教員個人ではなく、同一教科集団で共同制作する(大学教員・50代男性)
学校オリジナルのビデオを作成する時間がない(高校教員・50代男性)
ビデオを作成する専門部署を校内につくる(高校教員・50代男性)
授業を倍やるのと同じになるので、大変そう(大学教員・30代男性)
教科書のように専門のスタッフが作成する(大学教員・50代女性)
ビデオライブラリーの整備(高校教員・50代男性)
授業ビデオ作成のマニュアルなどがあれば便利だと思う(高校教員・30代男性)
教材作りは素材集めなどたいへんだと思う(大学教員・40代男性)
フォーマットの作成を行う(大学教員・40代男性)
コンテンツのフォーマットやツールなどの共有化(大学教員・40代男性)
外部業者に受託(大学教員・30代女性)
学校にビデオ作成に必要な機器を導入してもらおう。バックアップ体制を用意してもらおう(大学教員・30代女性)
負担どころではなく、難しい。AV作成専任スタッフがいるとか、専門の業者を利用して、共通(標準)のビデオを作って提供する必要あり(大学教員・60代男性)
忙しすぎる現場では不可能(高校教員・50代男性)

アンケートから一部抜粋

- ・忙しい教員たちにとって「授業ビデオ作成」という新たな仕事は負担が大きい(全体の37%)。
- ・対策としては、外部業者への委託や学校内への専門部署設立、フォーマットの作成などが挙げられた。

## ■「授業運営など学校のシステム上の問題」についての改善案

実践していない受講生に対しどうやってフォローしていくか？運営委員会にてじっくりと検討する(大学教員・40代男性)
事前に教員同士で模擬講義を行う(大学教員・40代男性)
学校の理解を得る必要がある。(大学教員・30代女性)
教材活用のための設備とその維持(大学教員・40代男性)
情報システムが乏しい(大学教員・50代男性)
費用がかかりそう(高校教員・30代女性)
システムを統一化して、よくわからない教諭でも簡単に操作できるようにする(高校教員・30代女性)
ある程度のモデル授業を教育委員会とが作成する(高校教員・50代男性)
現場の教員を増やさなければ無理。一クラスが、20人くらいなら余裕は出る(高校教員・50代男性)

アンケートから一部抜粋

- ・授業スタイルの変化に伴い、学校のシステム面も変革が必要不可欠だと考えられるが、それ自体を課題(障害)と捉える教員は少ない(全体の11%)。

## ■「教員が新しい指導法を学ぶ必要がある」についての改善案

教員のやる気を引き出すのが問題(大学教員・40代男性)
指導法を学べるセミナーなどへの出席(大学教員・30代男性)
モデルケースをビデオ教材や授業参観で実際に体験する(大学教員・40代女性)
指導法を学ぶ機会が少ない(大学教員・40代男性)
教員の意識改革(大学教員・60代男性)
このような指導方法を認めない教員もいる(高校教員・30代男性)
研修が必要(高校教員・50代男性)
研修する時間の確保(高校教員・50代男性)
授業に十分な準備をする(高校教員・50代男性)
指導事例の提示(高校教員・50代男性)
指導方法の共有(高校教員・50代男性)
今でも忙しいのに、現実的ではない(高校教員・50代男性)

アンケートから一部抜粋

- ・全体の17%が「教員が新しい指導法を学ぶ必要がある」と回答。
- ・セミナー・研修の受講や指導方法の共有、教員の意識改革などの必要性が挙げられた。

## ■「生徒/学生の自宅学習の定着化が難しい」についての改善案

授業開始前に簡単な確認テストを実施(大学教員・40代男性)
公平な成績評価と単位認定(大学教員・40代男性)
自宅学習の点数化(大学教員・60代男性)
自宅学習ではなく学校で個別学習(一人でVTRを見る)にする(大学教員・40代女性)
早送りはできなくする(大学教員・40代男性)
一般的な宿題もしてこない生徒がいる(高校教員・30代男性)
一番難しい。どうモチベーションをあげたらいいか(高校教員・50代男性)
自宅学習は本人次第だと思う(高校教員・60代男性)
個人差と動機づけが必要(高校教員・50代男性)
小学校から定着化を図る必要がある(高校教員・50代男性)
改善案はない。出来る生徒はどんどんやるし出来ない生徒は置いてけぼりにあう。格差の拡大を産むが出来る側にはメリットは多いはず(高校教員・60代男性)
部活動を学校教育から切り離す(高校教員・50代男性)
部活動生徒への配慮(高校教員・50代男性)
最初は、興味を持つかもしれないが、あきる子も出てくる(高校教員・50代男性)

アンケートから一部抜粋

- ・生徒/学生の自宅学習に不安を感じる教員は多い(全体の31%)。
- ・対策としては、「授業前に確認テストを実施」「自宅学習の点数化」などが挙げられた。
- ・一方で、「自宅学習は本人次第」「小学校から定着化を図る必要がある」といった声も。

## ■「生徒/学生宅のインターネット整備やタブレットの費用負担の問題」についての改善案

在校時に予めダウンロードさせる、一斉購入を行うことでなるべく安価にする(大学教員・40代男性)
授業料に含める(大学教員・30代男性)
タブレット端末などの無料配布(大学教員・50代男性)
導入機材の性能レベルを一定にした上で、最初は無料で多数のメーカーを試験的に導入させて競争させ、価格も最低にしたところの機種を採用する(大学教員・50代男性)
学校に自習室のようなものを整備して、学校で予習をする(大学教員・50代女性)
無料配布(大学教員・60代男性)
従来型との併用(大学教員・50代男性)
国や県が用意する(高校教員・60代男性)
学校による貸与(高校教員・50代男性)
レンタルやリース(高校教員・40代男性)
文科省が積極的に予算を確保する(高校教員・50代男性)
国が教育にもっとお金をかけるべき(高校教員・50代男性)
文科省が、受益者負担ということを続ける限り、未来はない(高校教員・50代男性)

アンケートから一部抜粋

- ・自宅学習のためのインターネット環境や端末をどうするかという懸念も少なくない(全体の26%)。
- ・学校側が負担、生徒側が負担という意見のほか、「レンタルやリースで対応」「国が教育にもっとお金をかけるべき」「一斉購入を行いなるべく安価に導入する」など様々な意見が見られた。

## ■「保護者の理解を得る必要がある」についての改善案

現状として難しい(高校教員・40代女性)

費用は理解を得られない。(高校教員・50代男性)

肖像権も含め、承諾書を求める(大学教員・50代女性)

・保護者の理解を得られるかどうかの懸念は、現状ではさほど多くないようだ(全体の3%)。

## ■その他の課題についての改善案

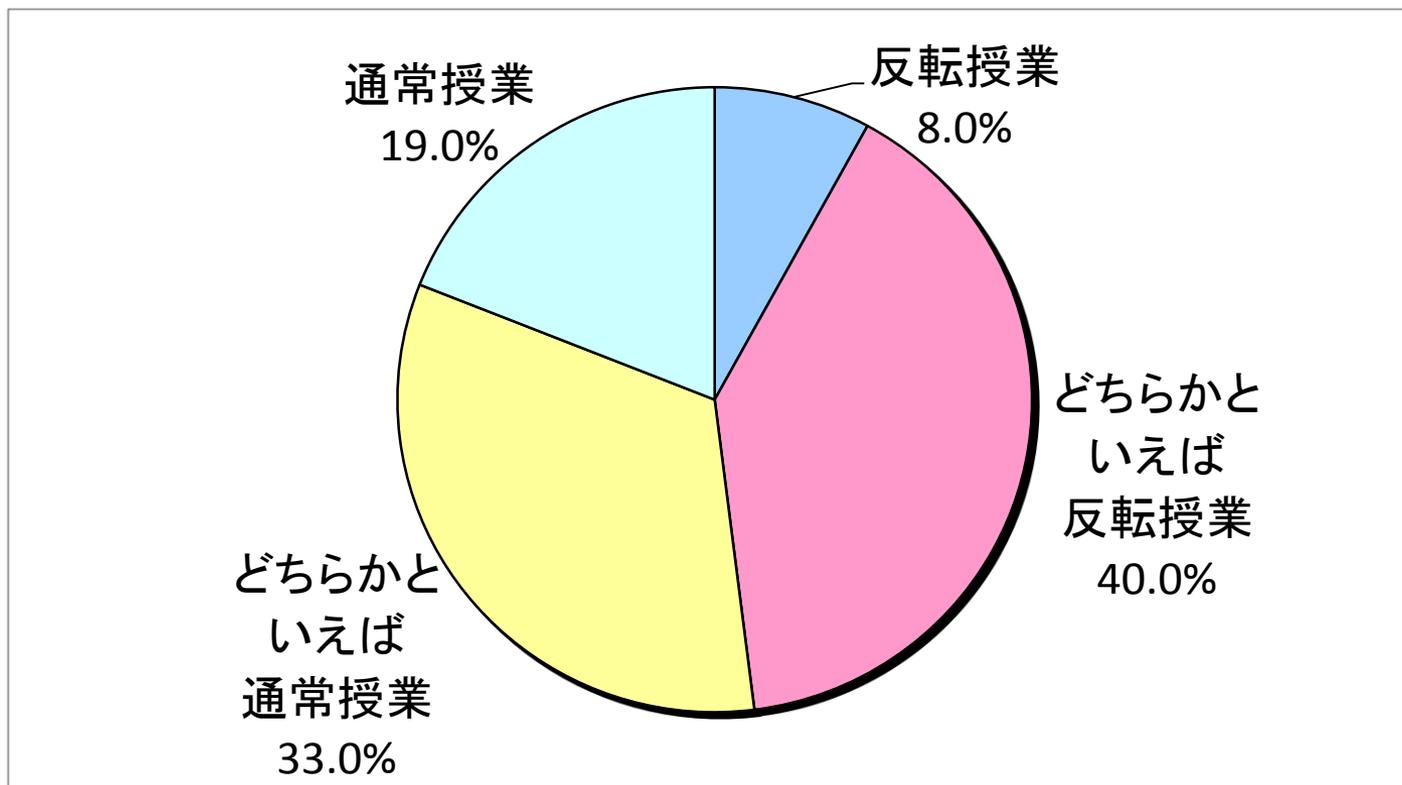
それに向く生徒ばかりではない	限定的な適応、対象生徒の「選別」(高校教員・50代男性)
コンテンツの著作権に関すること	著作権の専門家による審査、あるいは認証制度の整備(大学教員・40代男性)
このような実験的授業自体やめるべき	学生と教員の間にもあまり多くの機材を介在させない方が良い。今の学生が求めているものは「新しい授業」ではなく、多少なりとも心の交流が感じられるものなのだから(大学教員・60代男性)

アンケートから一部抜粋

・個々の生徒/学生に合わせた対応やコンテンツの著作権に関する課題も挙げられた。

## ■設問6

反転授業と通常の授業ではどちらの方が総合的な学習時間が増えると思いますか？



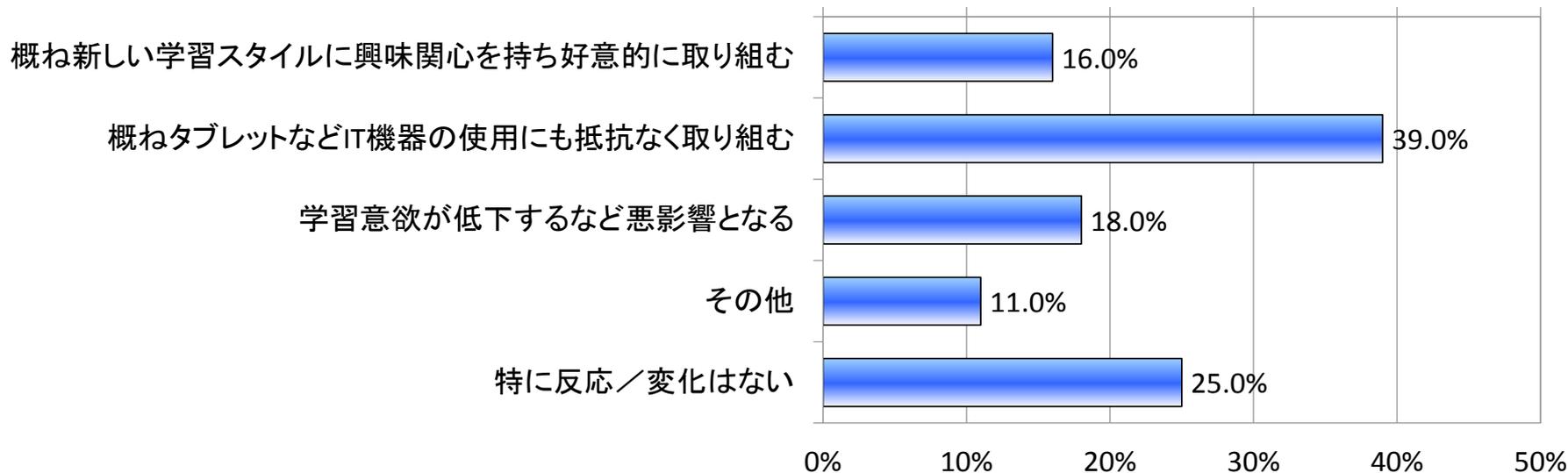
N=100

- ・「どちらかといえば反転授業」がもっとも多く40%。
- ・「通常授業」「どちらかといえば通常授業」のポイントも高い。
- ・反転授業が必ずしも学習時間の増加につながるとは考えられていない。

## ■設問7

反転授業を導入したと仮定した場合、生徒/学生はどのような反応を示すと思いますか？

以下から近いものをお選びください。(複数回答可)



その他…生徒によって異なる(高校教員・50代男性)、最初は面白がると思うが定着化を図るのは難しいと思う(高校教員・50代男性)、出来る生徒は黙々と従うしやらない生徒との格差が果てしなく広がる(高校教員・60代男性)、二極分化(高校教員・50代男性)、学校にもよる。最初はよいかもしれない(高校教員・50代男性)、教員のレベル低下(大学教員・60代男性)、学力差が大きくなるかもしれない(大学教員・40代男性)、自宅での学習をしない生徒が出てくる(大学教員・40代女性)、強制的に家で何かをさせるなんて、嫌がるでしょう(大学教員・30代男性)、自宅学習をサボってもなんとかかなると過信し学習せずに講義に臨む学生が増える(大学教員・30代男性)、PC依存症(大学教員・50代男性)

N=100

・「興味関心を持ち好意的に取り組む」「抵抗なく取り組む」があわせて55%。

## ■設問8

反転授業やMOOCsといった新しい教育スタイルが今注目されています。こうした現状を踏まえ、今後の教育における課題・期待など、あなたのお考えをお聞かせください。

学習者によって 効果は異なる	本当に学習する意欲をもつ者だけに効果がある方法である。学習意欲をもたずに大学生になる人が増えている昨今、教育サービスの在り方も多用化せざるを得ない(大学教員・40代女性)
	教室内での新しい機器・技術の利用は歓迎すべきだと思うが、講義そのものを学生が自由に視聴する形式にすると、まじめに見る学生とそうでない学生の差が広がると思う(大学教員・30代女性)
	生徒は新しいものに興味を持つが、その多くは始めのうちだけで長続きしない(高校教員・40代男性)
	やる気ある生徒だけ対象にするといいかも(高校教員・30代男性)
	モチベーションの高い生徒は充実できる(高校教員・50代男性)
教員側の準備が 必要	新しい教育のスタイルを全教員に周知させることが必要。反転授業やMOOCsがいいと思っても、そのやり方がよくわからなければ授業に取り入れようとはなかなか思えません(高校教員・30代男性)
	知的好奇心を刺激する場と時間を生徒が手に入れられるのはすばらしい。教員の意識、学習が、現状では追いつかないかも知れない(高校教員・50代男性)
	教員がまず自らのスキルアップを図るのに良いことだと思います(高校教員・50代男性)
環境整備	いつでも視聴できることは大きなメリットと考えるが最大のネックは視聴環境を整える必要があるということ、家庭側にそれを要求せざるを得ないということ。個人的には発展を望んでいる(高校教員・30代男性)
	インターネット環境がない家庭との格差が生じる(高校教員・30代男性)
	各家庭間の経済格差などの社会的条件を改善しないと本質的な問題は解決しない(高校教員・50代男性)
費用問題	システム導入に伴い高額な費用がかかる(大学教員・50代男性)
	すべてを無償とするのには問題があると思う。コンテンツを提供する以上、なんらかの費用を徴収する必要がある(大学教員・40代男性)
理解度チェック の在り方	理解度を測る手段を予め考えておく必要がある(高校教員・50代男性)
	どれだけ理解できたのかの判断が難しいのではないかと(高校教員・50代男性)

・「学習者によって学習効果は異なる」「教員側の準備が必要」「環境整備が必要」といった意見が多く見られた。

その他 課題・懸念	学校が終わってからも塾や予備校などで時間をとられており、家庭でビデオを視聴する時間がないことを心配する(高校教員・50代男性)
	地域格差が解消されそうだが、意欲の持続、定着の確認など生徒のモチベーションを上げることが難しいと思う(高校教員・50代女性)
	カリキュラムをもっと自由に組めるようにしないと実現できない(高校教員・50代男性)
	非常に素晴らしいことだとは思いますが、それぞれの専門科目によっては、まったく不適合だと言わざるを得ないと思う(大学教員・50代男性)
	どこでも高水準の講義を受けられることが、そのまま学力向上に直結するわけではなく、地道な反復学習を定着させるための工夫もさらに必要となる(大学教員・50代男性)
	広く教育の機会を広げる効果はあると思うが、教育する側の準備に対する対価や教育研究に対する価値の低下が懸念されると考える(大学教員・40代男性)
	これが進展すれば、学習者の自立学習が進み、伸びる人はどんどん伸びるだろう。しかし、義務教育等、嫌でも教え込み、覚えさせなければならない事柄の教育がどうなっていくのか心配(大学教員・50代男性)
	学生のやる気を先ずは起こさせないともったいない気がします。中学・高校での学習を見直した方が良い。自分で勉強をする方法を知らない学生で大学はあふれかえていますから(大学教員・50代女性)
	興味を持ち入学を志す学生が増えるのは良いことだと思うが、インターネット上の情報が全てだと勘違いすると間違いを生む原因になるのでリテラシー教育をしっかり行う必要がある(大学教員・30代男性)
動画投稿サイトにアップされたこの手の講義に関しては間違いも多い。どう対応するのか(大学教員・50代女性)	

アンケートから一部抜粋

・「塾や予備校で忙しい現代の子供たちにビデオ視聴の時間はない」「地道な反復学習こそ必要」「リテラシー教育も併せてすべき」「コンテンツの精度はどうコントロールするのか」といった様々な課題や懸念が挙げられた。

教育効果は期待できない	あまり教育効果は無いと考える(高校教員・60代男性)
	授業形態が変わっただけで、子ども達の学習時間が増えるとは思えません。もっと根深い部分で阻害されているように感じています(高校教員・50代男性)
	話題になっても効果があるかははっきりしていない(大学教員・40代女性)
	便利だがあまり教育的効果はない(大学教員・30代男性)
従来の授業が良い	従来の教育スタイルがよいと思う(高校教員・60代男性)
	フィードバックを得ることが困難なので、やはり通常授業の方がよい(大学教員・50代男性)
	教育は個人と個人の対面が基本中の基本。インターネットに対する期待はしない方がよいです。コスト削減など経営の論理に利用されるだけ(大学教員・30代男性)
教育の在り方が変わる	能力にない学生は卒業させないなど、本来の教育のあり方に移行する(大学教員・60代男性)
	大学に入学することの意義が薄くなる(大学教員・30代男性)

アンケートから一部抜粋

・「教育効果は期待できない」「従来の授業が良い」という意見も。

期待したい	興味・関心のある者がどんどん学習を進められる仕組みには大いに賛成(高校教員・40代男性)
	自宅でドクターコースまでしっかり取れるようなシステムを望んでいる(高校教員・60代男性)
	インターネットの普及により、興味関心のあることを探して講義を受けることができることを大いに期待しています(高校教員・50代男性)
	自分の学びなおしに利用したい。また、金銭的に進学を断念せざるを得ない生徒にとってはよい学びの場となるはずなので、積極的に推進して欲しい(高校教員・40代男性)
	教室内の授業・講義にとどまらず、公開性をもたせるという点に期待したい(大学教員・60代男性)
	人間の持つ、「より良いものを求める気持ち」が刺激され伸ばされる教育になってほしい。ITの発展などがその役に立つと良い(大学教員・50代女性)
	設備投資の負担は増えるが、授業はいずれにしても行う物なので教員の負担はあまり増える事なく大学の知名度、好感度上昇に寄与するので積極的に取り組みたい(大学教員・30代女性)
	日本の大学はレベルが低いので、どしどし導入すべき(大学教員・40代男性)
	目新しいものに飛びつくだけではなく、科学的見地から見た効果をしっかり測定する必要があると思うが、教育効果をあげる取り組みがいろいろと開発されることは基本的に望ましいことだと思う(大学教員・30代男性)
	自分の興味に合わせて好きなものを無料で視聴でき、大変良いと思う。やる気がある学生にとっては自分でどんどん進めることもできる。ただ、同じクラスに学力差やモチベーションの差がある場合、教員側としては非常に授業がしにくい(大学教員・30代女性)

アンケートから一部抜粋

- ・もっとも多かったのは前向きな意見や期待したいという声。
- ・十分な検討の上で、ITやインターネットを発展的教育に活用したいとする教員が多いようだ。

# G T 表

---

## ■設問1

反転授業をご存知ですか？

		N	%
全体		100	100.0%
1	知っている	19	19.0%
2	詳しくは知らないが聞いたことはある	22	22.0%
3	知らない	59	59.0%

- ・「知っている」「聞いたことはある」をあわせて41%
- ・過半数が反転授業について「知らない」と回答。

## ■設問2

設問1で「知っている」「聞いたことはある」と答えた方にお聞きします。  
あなたの学校では現在、反転授業を行っていますか？

		N	%
全体		41	100.0%
1	行っている	1	2.4%
2	現在は行っていないが、過去に行っていた	3	7.3%
3	行っていない	37	90.2%

・90%以上が「反転授業を行ったことはない」と回答。

## ■設問2-1

設問2で「行っている」と答えた方にお聞きします。  
その実施概要と効果についてお答えください。

【実施概要】	【生徒の反応】	【保護者の反応】	【先生ご自身が 感じる効果】
大学院で地域環境に関する授業	積極的に議論している	大学院生の場合保護者とほとんど連絡を取らないのでわからない	授業内容に対する興味が深まっている気がする

回答者: 大学教員 (30代女性)

N=1

- ・反転授業の実施継続者は、学生たちの積極的な議論・興味関心の深まりなど、一定の効果を実感している。

## ■設問2-2

設問2で「過去に行っていた」と答えた方にお聞きします。

反転授業を行わなくなった理由は何ですか？

従来の方が教員がなれているので(高校教員・50代男性)

受験指導をするには時間がかかりすぎ、馴染まない(高校教員・50代男性)

学生の数名が授業の予習をしてこないから(大学教員・40代男性)

N=3

- ・反転授業を「現在は行っていないが過去に行っていた」のは3名。
- ・止めた理由は、「反転授業に慣れなかった」「受験指導には不向き」「学生が予習をしてこない」

### ■設問2-3

設問2で「過去に行っていた」「行っていない」と答えた方にお聞きします。  
今後反転授業を行ってみたいと思いますか？また、その理由をお答えください。

		N	%
全体		40	100.0%
1	行ってみたい	5	12.5%
2	どちらかといえば行ってみたい	22	55.0%
3	どちらかといえば行いたくない	8	20.0%
4	行いたくない	5	12.5%

- ・「行ってみたい」「どちらかといえば行ってみたい」があわせて67.5%。
- ・反転授業を知っている教員の約7割がその導入に前向きである。

## <理由>

行ってみたい	現在行っている授業は、反転授業に近いものだと思う(大学教員・50代女性)
	議論こそ、集まってすべきことなので(大学教員・40代男性)
	新しい試みとして、ぜひやってみたい(大学教員・30代男性)
	やる気のない生徒に刺激を与えたいからです(高校教員・30代男性)
	今の形に限界を感じる(高校教員・50代男性)
どちらかといえば行ってみたい	昨今の学生は多分に自分の考えを構想したり人に伝えたりするのが苦手なので(大学教員・40代女性)
	学生が主体的に授業に関われるのでモチベーションが高まると思うが、宿題をしない学生が必ず出るので授業が成立するかどうかわからない(大学教員・30代女性)
	行いたい、授業時間はそのまま教員の負担が増すだけならば意味がない(大学教員・30代男性)
	すべての授業では無理でも、一部に取り入れることで、ここの定着度を理解し、補助することができるかも知れない(高校教員・50代男性)
	通常授業との差異を自身で確認したいから((大学教員・50代男性)
	どのような効果があるか興味がある(高校教員・30代男性)
	受験指導と関係のない学校内での活動でやってみたい(高校教員・50代男性)
	一方的な講義形式ではもはや限界があり、教員も無力感に苛まれているので、事態を打開する一助となる可能性にかけてみたいから(大学教員・50代男性)

アンケートから一部抜粋

- ・導入賛成の理由は、生徒/学生の意欲、思考力、議論・表現能力の向上への期待など。
- ・「すべての授業は無理でも一部で取り入れたい」「受験と関係のない活動でやってみたい」という声も。

## <理由>

どちらかといえば 行ないたくない	あまり効果的とは思わないから(大学教員・40代女性)
	効果がどうなるかまだ曖昧(大学教員・50代男性)
	反転授業を行うための準備に要する時間をとれない(大学教員・40代男性)
	どうやっても今の日本の学生は勉強をしないと思う(大学教員・60代男性)
	生徒が、講義ビデオを事前に見てくるようには思わないから(高校教員・60代男性)
	未経験の領域なため(高校教員・50代男性)
行ないたくない	興味ない(大学教員・60代男性)
	効果なし(高校教員・60代男性)
	余裕がない(高校教員・50代女性)
	授業ではないから(高校教員・50代男性)
	実施しようと思わないので(高校教員・50代男性)

アンケートから一部抜粋

- ・導入反対の理由は、「効果がない」「準備時間がない」「生徒/学生が事前学習 に対応できない」が多い。

## ■設問2-4

設問2で「過去に行っていた」「行っていない」と答えた方にお聞きします。  
今後反転授業を行うと仮定した場合、不安な点を教えてください。(複数回答可)

		N	%
<b>全体</b>		40	100.0%
1	教材作成の方法がわからない	8	20.0%
2	教材作成などの事前準備に時間をとられてしまう	22	55.0%
3	生徒が事前に自宅学習をしてこない	25	62.5%
4	学力格差の広がり	13	32.5%
5	実際の授業の場での生徒の学習意欲	11	27.5%
6	その他	0	0.0%
7	特に不安な点はない	4	10.0%

- ・「生徒/学生が事前に自宅学習をしてこない」がもっとも多く62.5%。
- ・次いで「教材作成などの事前準備に時間をとられてしまう」55.0%、「学力格差の広がり」32.5%。

### ■設問3

反転授業に興味はありますか？またその理由をお答えください。

		N	%
全体		100	100.0%
1	大変興味がある	11	11.0%
2	どちらかといえば興味がある	43	43.0%
3	どちらともいえない	28	28.0%
4	興味がない	18	18.0%

- ・「大変興味がある」「どちらかといえば興味がある」があわせて54%。
- ・興味のある層がやや多い。

## &lt;理由&gt;

大変興味がある	一斉授業に限界を感じているから。(高校教員・50代男性)
	現在の授業スタイルに限界を感じている(高校教員・50代男性)
	大学でも活用したい(大学教員・40代男性)
	学習効果は明らかに高まるから(大学教員・30代男性)
	新しい教育活動の試みとして非常に興味深い。ディスカッションを行うにあたり知識の不足分をどこで行うかという点において非常に興味深い。(大学教員・30代男性)
	自分の考えをまとめたり他者の意見に評価を与えたりと、コミュニケーション能力向上が図れる(大学教員・50代男性)

アンケートから一部抜粋

- ・反転授業に大変興味があると答えた教員は、その理由として「現行の授業スタイルからの脱却」「学習効果の向上」などを挙げた。

## <理由>

どちらかといえば 興味がある	考える力を養うためには反転授業は有効であると思うから(高校教員・50代男性)
	思考力を養う効果的な方法だと思うから(大学教員・40代女性)
	従来の授業だと一方的になりがちだが、反転授業は学生主体で考える力や自主性を伸ばせると思う(大学教員・30代女性)
	講義は動画でもよい。議論こそ授業として意味があるから(大学教員・40代男性)
	ICT機器を利用した授業に興味がある(高校教員・50代男性)
	通常授業との教育効果の違いに興味がある(大学教員・50代男性)
	受け身の授業より理解が深まる気がする(大学教員・30代女性)
	自宅学習をしっかりとこなせるだけの生徒の質が高くないと実現できないという壁があるが、それができるなら面白い授業ができると思う(高校教員・30代女性)
	大学ゼミなどで学生の基礎知識が足りずに議論が成熟しないことがあるので、そういう場合に使いやすそう(大学教員・30代男性)
	興味はあるが、今の学生に自宅で勉強する意欲があるか疑問(大学教員・60代男性)
	ディスカッションは大変よいがPCによる事前授業というのがPCにあまりに傾倒しすぎる(大学教員・50代男性)
	これから、パソコンでなくタブレットの普及によって、授業の形態のヴァリエーションが増えそうだから(高校教員・50代男性)
選択肢の通り、それ以上でもそれ以下でもない(大学教員・40代男性)	

アンケートから一部抜粋

・生徒/学生の自主性や思考力、議論・表現能力の向上に期待する声も多い。

## <理由>

どちらともいえない	実際に授業効果があるのか疑問(高校教員・60代男性)
	少人数でのクラス編成をしなければ効果がないと思う(高校教員・50代男性)
	実習系の教科では効果が期待できない(大学教員・40代男性)
	教科内容による(大学教員・50代男性)
	詳細を知らないから(大学教員・50代女性)
	展開を経験してみないとメリット・デメリットが判断できない(高校教員・50代男性)
	コンテンツをどうするのか、という疑問がある(高校教員・40代男性)
	準備が必要になるが、時間ができるかどうかわからないから(高校教員・40代男性)
	大学生はアルバイトに忙しく自宅学習をしないので実現が難しい(大学教員・60代男性)
	よく詳細が分からないので。(高校教員・40代男性)
興味がない	今のところそのような環境にはないからできない(高校教員・60代男性)
	学びに対するモチベーションや家庭環境が様々なので、そうそう成功するわけがないと思う(高校教員・40代男性)
	今までやってきた授業を否定することになりそうだから(高校教員・50代男性)
	顔を合わせてする授業のほうが好きだから(大学教員・40代男性)
	効果ないと思うから(高校教員・60代男性)
	これだけの説明では…(高校教員・50代男性)
	余裕がない(高校教員・50代女性)

アンケートから一部抜粋

- ・「学習効果があるかどうか疑問」「事前準備をする時間がない」「環境が整っていない」が主な理由。
- ・「詳細を知らない」など、反転授業についてよくわからないという教員も少なくない。

## ■設問4

反転授業のメリットは以下のどれだと考えますか？（複数回答可）

		N	%
全体		100	100.0%
1	生徒の自宅での学習時間増加	28	28.0%
2	生徒の自宅学習の習慣化	28	28.0%
3	自宅で基礎学習をすることで授業では応用を学べる	28	28.0%
4	授業をディスカッションや思考能力を育成する時間にレベルアップできる	36	36.0%
5	生徒がわからないところを事前に明確にすることができる	26	26.0%
6	教室で生徒一人ひとりにきめ細かい指導ができる	15	15.0%
7	生徒が自宅で授業ビデオを繰り返し視聴できる	22	22.0%
8	成績向上につながる	5	5.0%
9	その他	4	4.0%
10	メリットと思うものはない	17	17.0%

その他…学習に興味を持つようになる(高校教員・30代男性)、効果的な生徒には効果はあるがそういう生徒が多いとは限らない(高校教員・50代男性)、よくわかりません(高校教員・50代男性)、講義時間の効率化(大学教員・40代男性)

- ・「授業をディスカッションや思考能力育成の時間にレベルアップできる」がもっとも多く36%。
- ・「自宅学習時間の増加」「自宅学習の習慣化」「授業で応用を学べる」もポイントが高い。

## ■設問5

反転授業の課題は以下のどれだと考えますか？また、その改善案として考えられる事柄を教えてください。(複数回答可)

全体		N	%
1	授業ビデオ作成における教員側の負担	37	37.0%
2	授業運営など学校のシステム上の問題	11	11.0%
3	教員が新しい指導法を学ぶ必要がある	17	17.0%
4	生徒の自宅学習の定着化が難しい	31	31.0%
5	生徒宅のインターネット整備やタブレットの費用負担の問題	26	26.0%
6	保護者の理解を得る必要がある	3	3.0%
7	その他	4	4.0%
8	特に課題と思う事はない	30	30.0%

その他…それに向く生徒ばかりではない(高校教員・50代男性)、コンテンツの著作権に関すること(大学教員・40代男性)、このような実験的授業自体やめるべき(大学教員・60代男性)、よくわからない(高校教員・50代女性)

- ・「ビデオ教材作成における教員側の負担」37%、「生徒/学生の自宅学習が難しい」31%が多い。
- ・「特に課題はない」も3割に上った。

## ■「授業ビデオ作成における教員側の負担」についての改善案

教員個人ではなく、同一教科集団で共同制作する(大学教員・50代男性)
学校オリジナルのビデオを作成する時間がない(高校教員・50代男性)
ビデオを作成する専門部署を校内につくる(高校教員・50代男性)
授業を倍やるのと同じになるので、大変そう(大学教員・30代男性)
教科書のように専門のスタッフが作成する(大学教員・50代女性)
ビデオライブラリーの整備(高校教員・50代男性)
授業ビデオ作成のマニュアルなどがあれば便利だと思う(高校教員・30代男性)
教材作りは素材集めなどたいへんだと思う(大学教員・40代男性)
フォーマットの作成を行う(大学教員・40代男性)
コンテンツのフォーマットやツールなどの共有化(大学教員・40代男性)
外部業者に受託(大学教員・30代女性)
学校にビデオ作成に必要な機器を導入してもらおう。バックアップ体制を用意してもらおう(大学教員・30代女性)
負担どころではなく、難しい。AV作成専任スタッフがいるとか、専門の業者を利用して、共通(標準)のビデオを作って提供する必要あり(大学教員・60代男性)
忙しすぎる現場では不可能(高校教員・50代男性)

アンケートから一部抜粋

- ・忙しい教員たちにとって「授業ビデオ作成」という新たな仕事は負担が大きい(全体の37%)。
- ・対策としては、外部業者への委託や学校内への専門部署設立、フォーマットの作成などが挙げられた。

## ■「授業運営など学校のシステム上の問題」についての改善案

実践していない受講生に対しどうやってフォローしていくか？運営委員会にてじっくりと検討する(大学教員・40代男性)

事前に教員同士で模擬講義を行う(大学教員・40代男性)

学校の理解を得る必要がある。(大学教員・30代女性)

教材活用のための設備とその維持(大学教員・40代男性)

情報システムが乏しい(大学教員・50代男性)

費用がかかりそう(高校教員・30代女性)

システムを統一化して、よくわからない教諭でも簡単に操作できるようにする(高校教員・30代女性)

ある程度のモデル授業を教育委員会とが作成する(高校教員・50代男性)

現場の教員を増やさなければ無理。一クラスが、20人くらいなら余裕は出る(高校教員・50代男性)

アンケートから一部抜粋

- ・授業スタイルの変化に伴い、学校のシステム面も変革が必要不可欠だと考えられるが、それ自体を課題(障害)と捉える教員は少ない(全体の11%)。

## ■「教員が新しい指導法を学ぶ必要がある」についての改善案

教員のやる気を引き出すのが問題(大学教員・40代男性)
指導法を学べるセミナーなどへの出席(大学教員・30代男性)
モデルケースをビデオ教材や授業参観で実際に体験する(大学教員・40代女性)
指導法を学ぶ機会が少ない(大学教員・40代男性)
教員の意識改革(大学教員・60代男性)
このような指導方法を認めない教員もいる(高校教員・30代男性)
研修が必要(高校教員・50代男性)
研修する時間の確保(高校教員・50代男性)
授業に十分な準備をする(高校教員・50代男性)
指導事例の提示(高校教員・50代男性)
指導方法の共有(高校教員・50代男性)
今でも忙しいのに、現実的ではない(高校教員・50代男性)

アンケートから一部抜粋

- ・全体の17%が「教員が新しい指導法を学ぶ必要がある」と回答。
- ・セミナー・研修の受講や指導方法の共有、教員の意識改革などが改善案として挙げられた。

## ■「生徒/学生の自宅学習の定着化が難しい」についての改善案

授業開始前に簡単な確認テストを実施(大学教員・40代男性)
公平な成績評価と単位認定(大学教員・40代男性)
自宅学習の点数化(大学教員・60代男性)
自宅学習ではなく学校で個別学習(一人でVTRを見る)にする(大学教員・40代女性)
早送りはできなくする(大学教員・40代男性)
一般的な宿題もしてこない生徒がいる(高校教員・30代男性)
一番難しい。どうモチベーションをあげたらいいか(高校教員・50代男性)
自宅学習は本人次第だと思う(高校教員・60代男性)
個人差と動機づけが必要(高校教員・50代男性)
小学校から定着化を図る必要がある(高校教員・50代男性)
改善案はない。出来る生徒はどんどんやるし出来ない生徒は置いてけぼりにあう。格差の拡大を産むが出来る側にはメリットは多いはず(高校教員・60代男性)
部活動を学校教育から切り離す(高校教員・50代男性)
部活動生徒への配慮(高校教員・50代男性)
最初は、興味を持つかもしれないが、あきる子も出てくる(高校教員・50代男性)

アンケートから一部抜粋

- ・生徒/学生の自宅学習に不安を感じる教員は多い(全体の31%)。
- ・対策としては、「授業前に確認テストを実施」「自宅学習の点数化」などが挙げられた。
- ・一方で、「自宅学習は本人次第」「小学校から定着化を図る必要がある」といった声も。

## ■「生徒/学生宅のインターネット整備やタブレットの費用負担の問題」についての改善案

在校時に予めダウンロードさせる、一斉購入を行うことでなるべく安価にする(大学教員・40代男性)
授業料に含める(大学教員・30代男性)
タブレット端末などの無料配布(大学教員・50代男性)
導入機材の性能レベルを一定にした上で、最初は無料で多数のメーカーを試験的に導入させて競争させ、価格も最低にしたところの機種を採用する(大学教員・50代男性)
学校に自習室のようなものを整備して、学校で予習をする(大学教員・50代女性)
無料配布(大学教員・60代男性)
従来型との併用(大学教員・50代男性)
国や県が用意する(高校教員・60代男性)
学校による貸与(高校教員・50代男性)
レンタルやリース(高校教員・40代男性)
文科省が積極的に予算を確保する(高校教員・50代男性)
国が教育にもっとお金をかけるべき(高校教員・50代男性)
文科省が、受益者負担ということを続ける限り、未来はない(高校教員・50代男性)

アンケートから一部抜粋

- ・自宅学習のためのインターネット環境や端末をどうするかという懸念も少なくない(全体の26%)。
- ・学校側が負担、生徒側が負担という意見のほか、「レンタルやリースで対応」「国が教育にもっとお金をかけるべき」「一斉購入を行いなるべく安価に導入する」など様々な意見が見られた。

## ■「保護者の理解を得る必要がある」についての改善案

現状として難しい(高校教員・40代女性)

費用は理解を得られない。(高校教員・50代男性)

肖像権も含め、承諾書を求める(大学教員・50代女性)

・保護者の理解を得られるかどうかの懸念は、現状ではさほど多くないようだ(全体の3%)。

## ■その他の課題についての改善案

それに向く生徒ばかりではない	限定的な適応、対象生徒の「選別」(高校教員・50代男性)
コンテンツの著作権に関すること	著作権の専門家による審査、あるいは認証制度の整備(大学教員・40代男性)
このような実験的授業自体やめるべき	学生と教員の間にもあまり多くの機材を介在させない方が良い。今の学生が求めているものは「新しい授業」ではなく、多少なりとも心の交流が感じられるものなのだから(大学教員・60代男性)

アンケートから一部抜粋

・個々の生徒/学生に合わせた対応やコンテンツの著作権に関する課題も挙げられた。

## ■設問6

反転授業と通常の授業ではどちらの方が総合的な学習時間が増えると思いますか？

		N	%
<b>全体</b>		100	100.0%
1	反転授業	8	8.0%
2	どちらかといえば反転授業	40	40.0%
3	どちらかといえば通常授業	33	33.0%
4	通常授業	19	19.0%

- ・「どちらかといえば反転授業」がもっとも多く40%。
- ・「通常授業」「どちらかといえば通常授業」のポイントも高い。
- ・反転授業が必ずしも学習時間の増加につながるとは考えられていない。

## ■設問7

反転授業を導入したと仮定した場合、生徒/学生はどのような反応を示すと思いますか？

以下から近いものをお選びください。(複数回答可)

		N	%
<b>全体</b>		100	100.0%
1	概ね新しい学習スタイルに興味関心を持ち好意的に取り組む	16	16.0%
2	概ねタブレットなどIT機器の使用にも抵抗なく取り組む	39	39.0%
3	学習意欲が低下するなど悪影響となる	18	18.0%
4	その他	11	11.0%
5	特に反応／変化はない	25	25.0%

その他…生徒によって異なる(高校教員・50代男性)、最初は面白がると思うが定着化を図るのは難しいと思う(高校教員・50代男性)、出来る生徒は黙々と従うしやらない生徒との格差が果てしなく広がる(高校教員・60代男性)、二極分化(高校教員・50代男性)、学校にもよる。最初はよいかもしれない(高校教員・50代男性)、教員のレベル低下(大学教員・60代男性)、学力差が大きくなるかもしれない(大学教員・40代男性)、自宅での学習をしない生徒が出てくる(大学教員・40代女性)、強制的に家で何かをさせるなんて、嫌がるでしょう(大学教員・30代男性)、自宅学習をサポートもなんとかなると過信し学習せずに講義に臨む学生が増える(大学教員・30代男性)、PC依存症(大学教員・50代男性)

・「興味関心を持ち好意的に取り組む」「抵抗なく取り組む」があわせて55%。

## ■設問8

反転授業やMOOCsといった新しい教育スタイルが今注目されています。こうした現状を踏まえ、今後の教育における課題・期待など、あなたのお考えをお聞かせください。

学習者によって 効果は異なる	本当に学習する意欲をもつ者だけに効果がある方法である。学習意欲をもたずに大学生になる人が増えている昨今、教育サービスの在り方も多用化せざるを得ない(大学教員・40代女性)
	教室内での新しい機器・技術の利用は歓迎すべきだと思うが、講義そのものを学生が自由に視聴する形式にすると、まじめに見る学生とそうでない学生の差が広がると思う(大学教員・30代女性)
	生徒は新しいものに興味を持つが、その多くは始めのうちだけで長続きしない(高校教員・40代男性)
	やる気ある生徒だけ対象にするといいかも(高校教員・30代男性)
	モチベーションの高い生徒は充実できる(高校教員・50代男性)
教員側の準備が 必要	新しい教育のスタイルを全教員に周知させることが必要。反転授業やMOOCsがいいと思っても、そのやり方がよくわからなければ授業に取り入れようとはなかなか思えません(高校教員・30代男性)
	知的好奇心を刺激する場と時間を生徒が手に入れられるのはすばらしい。教員の意識、学習が、現状では追いつかないかも知れない(高校教員・50代男性)
	教員がまず自らのスキルアップを図るのに良いことだと思います(高校教員・50代男性)
環境整備	いつでも視聴できることは大きなメリットと考えるが最大のネックは視聴環境を整える必要があるということ、家庭側にそれを要求せざるを得ないということ。個人的には発展を望んでいる(高校教員・30代男性)
	インターネット環境がない家庭との格差が生じる(高校教員・30代男性)
	各家庭間の経済格差などの社会的条件を改善しないと本質的な問題は解決しない(高校教員・50代男性)
費用問題	システム導入に伴い高額な費用がかかる(大学教員・50代男性)
	すべてを無償とするのには問題があると思う。コンテンツを提供する以上、なんらかの費用を徴収する必要がある(大学教員・40代男性)
理解度チェック の在り方	理解度を測る手段を予め考えておく必要がある(高校教員・50代男性)
	どれだけ理解できたのかの判断が難しいのではないかと(高校教員・50代男性)

・「学習者によって学習効果は異なる」「教員側の準備が必要」「環境整備が必要」といった意見が多く見られた。

その他 課題・懸念	学校が終わってからも塾や予備校などで時間をとられており、家庭でビデオを視聴する時間がないことを心配する(高校教員・50代男性)
	地域格差が解消されそうだが、意欲の持続、定着の確認など生徒のモチベーションを上げることが難しいと思う(高校教員・50代女性)
	カリキュラムをもっと自由に組めるようにしないと実現できない(高校教員・50代男性)
	非常に素晴らしいことだとは思いますが、それぞれの専門科目によっては、まったく不適合だと言わざるを得ないと思う(大学教員・50代男性)
	どこでも高水準の講義を受けられることが、そのまま学力向上に直結するわけではなく、地道な反復学習を定着させるための工夫もさらに必要となる(大学教員・50代男性)
	広く教育の機会を広げる効果はあると思うが、教育する側の準備に対する対価や教育研究に対する価値の低下が懸念されると考える(大学教員・40代男性)
	これが進展すれば、学習者の自立学習が進み、伸びる人はどんどん伸びるだろう。しかし、義務教育等、嫌でも教え込み、覚えさせなければならぬ事柄の教育がどうなっていくのか心配(大学教員・50代男性)
	学生のやる気を先ずは起こさせないともったいない気がします。中学・高校での学習を見直した方が良い。自分で勉強をする方法を知らない学生で大学はあふれかえていますから(大学教員・50代女性)
	興味を持ち入学を志す学生が増えるのは良いことだと思うが、インターネット上の情報が全てだと勘違いすると間違いを生む原因になるのでリテラシー教育をしっかりと行う必要がある(大学教員・30代男性)
動画投稿サイトにアップされたこの手の講義に関しては間違いも多い。どう対応するのか(大学教員・50代女性)	

・「塾や予備校で忙しい現代の子供たちにビデオ視聴の時間はない」「地道な反復学習こそ必要」「リテラシー教育も併せてすべき」「コンテンツの精度はどうコントロールするのか」といった様々な課題や懸念が挙げられた。

教育効果は期待できない	あまり教育効果は無いと考える(高校教員・60代男性)
	授業形態が変わっただけで、子ども達の学習時間が増えるとは思えません。もっと根深い部分で阻害されているように感じています(高校教員・50代男性)
	話題になっても効果があるかははっきりしていない(大学教員・40代女性)
	便利だがあまり教育的効果はない(大学教員・30代男性)
従来の授業が良い	従来の教育スタイルがよいと思う(高校教員・60代男性)
	フィードバックを得ることが困難なので、やはり通常授業の方がよい(大学教員・50代男性)
	教育は個人と個人の対面が基本中の基本。インターネットに対する期待はしない方がよいです。コスト削減など経営の論理に利用されるだけ(大学教員・30代男性)
教育の在り方が変わる	能力にない学生は卒業させないなど、本来の教育のあり方に移行する(大学教員・60代男性)
	大学に入学することの意義が薄くなる(大学教員・30代男性)

・「教育効果は期待できない」「従来の授業が良い」という意見も。

期待したい	興味・関心のある者がどんどん学習を進められる仕組みには大いに賛成(高校教員・40代男性)
	自宅でドクターコースまでしっかり取れるようなシステムを望んでいる(高校教員・60代男性)
	インターネットの普及により、興味関心のあることを探して講義を受けることができることを大いに期待しています(高校教員・50代男性)
	自分の学びなおしに利用したい。また、金銭的に進学を断念せざるを得ない生徒にとってはよい学びの場となるはずなので、積極的に推進して欲しい(高校教員・40代男性)
	教室内の授業・講義にとどまらず、公開性をもたせるという点に期待したい(大学教員・60代男性)
	人間の持つ、「より良いものを求める気持ち」が刺激され伸ばされる教育になってほしい。ITの発展などがその役に立つと良い(大学教員・50代女性)
	設備投資の負担は増えるが、授業はいずれにしても行う物なので教員の負担はあまり増える事なく大学の知名度、好感度上昇に寄与するので積極的に取り組みたい(大学教員・30代女性)
	日本の大学はレベルが低いので、どしどし導入すべき(大学教員・40代男性)
	目新しいものに飛びつくだけではなく、科学的見地から見た効果をしっかり測定する必要があると思うが、教育効果をあげる取り組みがいろいろと開発されることは基本的に望ましいことだと思う(大学教員・30代男性)
	自分の興味に合わせて好きなものを無料で視聴でき、大変良いと思う。やる気がある学生にとっては自分でどんどん進めることもできる。ただ、同じクラスに学力差やモチベーションの差がある場合、教員側としては非常に授業がしにくい(大学教員・30代女性)

アンケートから一部抜粋

- ・もっとも多かったのは前向きな意見や期待したいという声。
- ・十分な検討の上で、ITやインターネットを発展的教育に活用したいとする教員が多いようだ。

# クロス表

---

## ■設問1

## 反転授業をご存知ですか？

		全体	1 知っている	2 聞いたことはある 詳しくはない ことが ある	3 知らない
全体		100 100.0%	19 19.0%	22 22.0%	59 59.0%
高等学校教員		50 100.0%	7 14.0%	15 30.0%	28 56.0%
高等学校教員	20代	1 100.0%	1 100.0%	- -	- -
	30代	9 100.0%	- -	2 22.2%	7 77.8%
	40代	8 100.0%	1 12.5%	1 12.5%	6 75.0%
	50代	27 100.0%	4 14.8%	10 37.0%	13 48.1%
	60代	5 100.0%	1 20.0%	2 40.0%	2 40.0%
大学教員		50 100.0%	12 24.0%	7 14.0%	31 62.0%
大学教員	20代	- -	- -	- -	- -
	30代	10 100.0%	2 20.0%	2 20.0%	6 60.0%
	40代	16 100.0%	2 12.5%	3 18.8%	11 68.8%
	50代	15 100.0%	6 40.0%	1 6.7%	8 53.3%
	60代	9 100.0%	2 22.2%	1 11.1%	6 66.7%

・「知っている」  
「聞いたことはある」が  
あわせて41%

・50～60代の高校教員の  
知っている率が比較的  
高い。

## ■設問2

設問1で「知っている」「聞いたことがある」と答えた方にお聞きします。  
あなたの学校では現在、反転授業を行っていますか？

		全体	1	2	3
			行 っ て い る	行 な い 、 現 在 は 行 っ た こ と が あ ら な い	行 っ て い な い
全体		41 100.0%	1 2.4%	3 7.3%	37 90.2%
高等学校教員		22 100.0%	-	2 9.1%	20 90.9%
高等学校教員	20代	1 100.0%	-	-	1 100.0%
	30代	2 100.0%	-	-	2 100.0%
	40代	2 100.0%	-	-	2 100.0%
	50代	14 100.0%	-	2 14.3%	12 85.7%
	60代	3 100.0%	-	-	3 100.0%
大学教員		19 100.0%	1 5.3%	1 5.3%	17 89.5%
大学教員	20代	-	-	-	-
	30代	4 100.0%	1 25.0%	-	3 75.0%
	40代	5 100.0%	-	1 20.0%	4 80.0%
	50代	7 100.0%	-	-	7 100.0%
	60代	3 100.0%	-	-	3 100.0%

・90%以上が「反転授業を行ったことはない」と回答。

・30代の大学教員1名が「現在反転授業を行っている」と回答。

・「過去に反転授業を行っていた」のは50代の高校教員2名と40代の大学教員1名。

## ■設問2-1

設問2で「行っている」と答えた方にお聞きします。  
その実施概要と効果についてお答えください。

【実施概要】	【生徒の反応】	【保護者の反応】	【先生ご自身が 感じる効果】
大学院で地域環境 に関する授業	積極的に議論している	大学院生の場合保護者と ほとんど連絡を取らない のでわからない	授業内容に対する興味が 深まっている気がする

回答者：大学教員（30代女性）

N=1

- ・反転授業の実施継続者は、学生たちの積極的な議論・興味関心の深まりなど、一定の効果を実感している。

## ■設問2-2

設問2で「過去に行っていた」と答えた方にお聞きします。  
反転授業を行わなくなった理由は何ですか？

従来の方が教員がなれているので(高校教員・50代男性)

受験指導をするには時間がかかりすぎ、馴染まない(高校教員・50代男性)

学生の数名が授業の予習をしてこないから(大学教員・40代男性)

N=3

- ・反転授業を「現在は行っていないが過去に行っていた」のは3名。
- ・止めた理由は、「反転授業に慣れなかった」「受験指導には不向き」「学生が予習をしてこない」

### ■設問2-3

設問2で「過去に行っていた」「行っていない」と答えた方にお聞きします。  
 今後反転授業を行ってみたいと思いますか？また、その理由をお答えください。

		全体	1 行 っ て み た い	2 ば ど 行 ち っ ら て か み と た い え	3 ば ど 行 ち い ら た か く と な い え	4 行 い た く な い
全体		40 100.0%	5 12.5%	22 55.0%	8 20.0%	5 12.5%
高等学校教員		22 100.0%	2 9.1%	12 54.5%	4 18.2%	4 18.2%
高等学校教員	20代	1 100.0%	-	1 100.0%	-	-
	30代	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	-	-
	40代	2 100.0%	-	2 100.0%	-	-
	50代	14 100.0%	1 7.1%	7 50.0%	3 21.4%	3 21.4%
	60代	3 100.0%	-	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%
大学教員		18 100.0%	3 16.7%	10 55.6%	4 22.2%	1 5.6%
大学教員	20代	-	-	-	-	-
	30代	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	-	-
	40代	5 100.0%	1 20.0%	2 40.0%	2 40.0%	-
	50代	7 100.0%	1 14.3%	5 71.4%	1 14.3%	-
	60代	3 100.0%	-	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%

・「行ってみたい」  
 「どちらかといえば行って  
 みたい」が67.5%。

・反転授業を知っている  
 教員の約7割がその導入  
 に前向きである。

・20～40代を中心に若い  
 世代の教員の間でとくに  
 興味関心が高い。

## <理由>

行ってみたい	現在行っている授業は、反転授業に近いものだと思う(大学教員・50代女性)
	議論こそ、集まってすべきことなので(大学教員・40代男性)
	新しい試みとして、ぜひやってみたい(大学教員・30代男性)
	やる気のない生徒に刺激を与えたいからです(高校教員・30代男性)
	今の形に限界を感じる(高校教員・50代男性)
どちらかといえば 行ってみたい	昨今の学生は多分に自分の考えを構想したり人に伝えたりするのが苦手なので(大学教員・40代女性)
	学生が主体的に授業に関われるのでモチベーションが高まると思うが、宿題をしない学生が必ず出るので授業が成立するかどうかわからない(大学教員・30代女性)
	行いたい、授業時間はそのまま教員の負担が増すだけならば意味がない(大学教員・30代男性)
	すべての授業では無理でも、一部に取り入れることで、ここの定着度を理解し、補助することができるかも知れない(高校教員・50代男性)
	通常授業との差異を自身で確認したいから((大学教員・50代男性)
	どのような効果があるか興味がある(高校教員・30代男性)
	受験指導と関係のない学校内での活動でやってみたい(高校教員・50代男性)
	一方的な講義形式ではもはや限界があり、教員も無力感に苛まれているので、事態を打開する一助となる可能性にかけてみたいから(大学教員・50代男性)

アンケートから一部抜粋

- ・導入賛成の理由は、生徒/学生の意欲、思考力、議論・表現能力の向上への期待など。
- ・「すべての授業は無理でも一部で取り入れたい」「受験と関係のない活動でやってみたい」という声も。

## <理由>

どちらかといえば 行ないたくない	あまり効果的とは思わないから(大学教員・40代女性)
	効果がどうなるかまだ曖昧(大学教員・50代男性)
	反転授業を行うための準備に要する時間をとれない(大学教員・40代男性)
	どうやっても今の日本の学生は勉強をしないと思う(大学教員・60代男性)
	生徒が、講義ビデオを事前に見てくるようには思わないから(高校教員・60代男性)
	未経験の領域なため(高校教員・50代男性)
行ないたくない	興味ない(大学教員・60代男性)
	効果なし(高校教員・60代男性)
	余裕がない(高校教員・50代女性)
	授業ではないから(高校教員・50代男性)
	実施しようと思わないので(高校教員・50代男性)

アンケートから一部抜粋

- ・導入反対の理由は、「効果がない」「準備時間がない」「生徒/学生が事前学習 に対応できない」が多い。

## ■設問2-4

設問2で「過去に行っていた」「行っていない」と答えた方にお聞きします。  
今後反転授業を行うと仮定した場合、不安な点を教えてください。(複数回答可)

		1	2	3	4	5	6	7
全体		か教材作 らないの 方法がわ	て準備材 しましな う時間な どの事 れ前	習生徒が をし事 て前に ない自 宅学	学力格差 の広がり	生実際の の授業の 学習意欲 での	その他	特に不安 な点はない
全体		40 100.0%	8 20.0%	22 55.0%	25 62.5%	13 32.5%	11 27.5%	- 10.0%
高等学校教員		22 100.0%	7 31.8%	14 63.6%	11 50.0%	9 40.9%	6 27.3%	- 9.1%
高等学校教員	20代	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	-
	30代	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	-	-	-
	40代	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	2 100.0%	1 50.0%	-	-
	50代	14 100.0%	4 28.6%	10 71.4%	5 35.7%	6 42.9%	4 28.6%	- 7.1%
	60代	3 100.0%	-	1 33.3%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	- 33.3%
大学教員		18 100.0%	1 5.6%	8 44.4%	14 77.8%	4 22.2%	5 27.8%	- 11.1%
大学教員	20代	-	-	-	-	-	-	-
	30代	3 100.0%	-	1 33.3%	3 100.0%	-	-	-
	40代	5 100.0%	1 20.0%	4 80.0%	4 80.0%	3 60.0%	3 60.0%	-
	50代	7 100.0%	-	3 42.9%	5 71.4%	1 14.3%	2 28.6%	- 14.3%
	60代	3 100.0%	-	-	2 66.7%	-	-	- 33.3%

・高校教員は「教材作成などの事前準備に時間をとられてしまう」63.6%が最多。「教材作成の方法がわからない」も31.8%で、教材作成に関する不安感が強いことが読み取れる。

・大学教員は「生徒/学生が事前に自宅学習をしてこない」が最多で77.8%。自宅学習率が低い現代の大学生事情がうかがえる。

### ■設問3

反転授業に興味はありますか？またその理由をお答えください。

		全体	1 大変興味がある	2 ばど興味がある いちらかといえ	3 などいちらかともいえ	4 興味がない
全体		100 100.0%	11 11.0%	43 43.0%	28 28.0%	18 18.0%
高等学校教員		50 100.0%	4 8.0%	21 42.0%	14 28.0%	11 22.0%
高等学校教員	20代	1 100.0%	-	1 100.0%	-	-
	30代	9 100.0%	1 11.1%	5 55.6%	3 33.3%	-
	40代	8 100.0%	-	4 50.0%	3 37.5%	1 12.5%
	50代	27 100.0%	3 11.1%	9 33.3%	7 25.9%	8 29.6%
	60代	5 100.0%	-	2 40.0%	1 20.0%	2 40.0%
	大学教員	50 100.0%	7 14.0%	22 44.0%	14 28.0%	7 14.0%
大学教員	20代	-	-	-	-	-
	30代	10 100.0%	3 30.0%	3 30.0%	2 20.0%	2 20.0%
	40代	16 100.0%	3 18.8%	8 50.0%	4 25.0%	1 6.3%
	50代	15 100.0%	1 6.7%	8 53.3%	4 26.7%	2 13.3%
	60代	9 100.0%	-	3 33.3%	4 44.4%	2 22.2%

・「大変興味がある」  
「どちらかといえば興味がある」をあわせて54%。

・高校／大学別、年代別の差異は見られない。

## <理由>

大変興味がある	一斉授業に限界を感じているから。(高校教員・50代男性)
	現在の授業スタイルに限界を感じている(高校教員・50代男性)
	大学でも活用したい(大学教員・40代男性)
	学習効果は明らかに高まるから(大学教員・30代男性)
	新しい教育活動の試みとして非常に興味深い。ディスカッションを行うにあたり知識の不足分をどこで行うかという点において非常に興味深い。(大学教員・30代男性)
	自分の考えをまとめたり他者の意見に評価を与えたりと、コミュニケーション能力向上が図れる(大学教員・50代男性)

アンケートから一部抜粋

- ・反転授業に大変興味があると答えた教員は、その理由として「現行の授業スタイルからの脱却」「学習効果の向上」などを挙げた。

## <理由>

どちらかといえば 興味がある	考える力を養うためには反転授業は有効であると思うから(高校教員・50代男性)
	思考力を養う効果的な方法だと思うから(大学教員・40代女性)
	従来の授業だと一方的になりがちだが、反転授業は学生主体で考える力や自主性を伸ばせると思う(大学教員・30代女性)
	講義は動画でもよい。議論こそ授業として意味があるから(大学教員・40代男性)
	ICT機器を利用した授業に興味がある(高校教員・50代男性)
	通常授業との教育効果の違いに興味がある(大学教員・50代男性)
	受け身の授業より理解が深まる気がする(大学教員・30代女性)
	自宅学習をしっかりとこなせるだけの生徒の質が高くないと実現できないという壁があるが、それができるなら面白い授業ができると思う(高校教員・30代女性)
	大学ゼミなどで学生の基礎知識が足りずに議論が成熟しないことがあるので、そういう場合に使いやすそう(大学教員・30代男性)
	興味はあるが、今の学生に自宅で勉強する意欲があるか疑問(大学教員・60代男性)
	ディスカッションは大変よいがPCによる事前授業というのがPCにあまりに傾倒しすぎる(大学教員・50代男性)
	これから、パソコンでなくタブレットの普及によって、授業の形態のヴァリエーションが増えそうだから(高校教員・50代男性)
選択肢の通り、それ以上でもそれ以下でもない(大学教員・40代男性)	

アンケートから一部抜粋

・生徒/学生の自主性や思考力、議論・表現能力の向上に期待する声も多い。

## <理由>

どちらともいえない	実際に授業効果があるのか疑問(高校教員・60代男性)
	少人数でのクラス編成をしなければ効果がないと思う(高校教員・50代男性)
	実習系の教科では効果が期待できない(大学教員・40代男性)
	教科内容による(大学教員・50代男性)
	詳細を知らないから(大学教員・50代女性)
	展開を経験してみないとメリット・デメリットが判断できない(高校教員・50代男性)
	コンテンツをどうするのか、という疑問がある(高校教員・40代男性)
	準備が必要になるが、時間ができるかどうかわからないから(高校教員・40代男性)
	大学生はアルバイトに忙しく自宅学習をしないので実現が難しい(大学教員・60代男性)
	よく詳細が分からないので。(高校教員・40代男性)
興味がない	今のところそのような環境にはないからできない(高校教員・60代男性)
	学びに対するモチベーションや家庭環境が様々なので、そうそう成功するわけがないと思う(高校教員・40代男性)
	今までやってきた授業を否定することになりそうだから(高校教員・50代男性)
	顔を合わせてする授業のほうが好きだから(大学教員・40代男性)
	効果ないと思うから(高校教員・60代男性)
	これだけの説明では…(高校教員・50代男性)
	余裕がない(高校教員・50代女性)

アンケートから一部抜粋

- ・「学習効果があるかどうか疑問」「事前準備をする時間がない」「環境が整っていない」が主な理由。
- ・「詳細を知らない」など、反転授業についてよくわからないという教員も少なくない。

## ■設問4

反転授業のメリットは以下のどれだと考えますか？(複数回答可)

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
全体		生徒の学習時間の増加	生徒の学習の習慣化	自宅学習の基礎を学べる	思考能力を育成できる	事前の準備が明確にできる	生徒がわかりやすい指導ができる	教室での生徒一人ひとりにきめ細かい指導ができる	生徒が自宅で見学できる	成績向上につながる	その他	ない
全体		100	28	28	28	36	26	15	22	5	4	17
		100.0%	28.0%	28.0%	28.0%	36.0%	26.0%	15.0%	22.0%	5.0%	4.0%	17.0%
高等学校教員		50	13	15	13	14	14	8	11	3	3	11
		100.0%	26.0%	30.0%	26.0%	28.0%	28.0%	16.0%	22.0%	6.0%	6.0%	22.0%
高等学校教員	20代	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
		100.0%	-	100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
	30代	9	3	5	3	3	4	-	4	2	1	1
		100.0%	33.3%	55.6%	33.3%	33.3%	44.4%	-	44.4%	22.2%	11.1%	11.1%
	40代	8	4	3	1	1	3	2	2	-	-	2
		100.0%	50.0%	37.5%	12.5%	12.5%	37.5%	25.0%	25.0%	-	-	25.0%
	50代	27	4	5	6	7	7	5	2	1	2	6
		100.0%	14.8%	18.5%	22.2%	25.9%	25.9%	18.5%	7.4%	3.7%	7.4%	22.2%
	60代	5	2	1	3	3	-	1	3	-	-	2
		100.0%	40.0%	20.0%	60.0%	60.0%	-	20.0%	60.0%	-	-	40.0%
大学教員		50	15	13	15	22	12	7	11	2	1	6
		100.0%	30.0%	26.0%	30.0%	44.0%	24.0%	14.0%	22.0%	4.0%	2.0%	12.0%
大学教員	20代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30代	10	3	2	5	7	3	1	4	-	-	2
		100.0%	30.0%	20.0%	50.0%	70.0%	30.0%	10.0%	40.0%	-	-	20.0%
	40代	16	7	4	3	7	5	1	2	2	1	1
		100.0%	43.8%	25.0%	18.8%	43.8%	31.3%	6.3%	12.5%	12.5%	6.3%	6.3%
	50代	15	4	6	6	7	1	3	3	-	-	-
		100.0%	26.7%	40.0%	40.0%	46.7%	6.7%	20.0%	20.0%	-	-	-
	60代	9	1	1	1	1	3	2	2	-	-	3
		100.0%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	33.3%	22.2%	22.2%	-	-	33.3%

その他…学習に興味を持つようになる(高校教員・30代男性)、効果的な生徒には効果はあるがそういう生徒が多いとは限らない(高校教員・50代男性)、よくわかりません(高校教員・50代男性)、講義時間の効率化(大学教員・40代男性)

・高校教員は「生徒の自宅学習の習慣化」が30%で最多。

・大学教員は「授業をディスカッションや思考能力育成の時間にレベルアップできる」が44%で最多。

## ■設問5

反転授業の課題は以下のどれだと考えますか？また、その改善案として考えられる事柄を教えてください。(複数回答可)

		1	2	3	4	5	6	7	8	
全体		授業ビデオ作成の負担	授業運営など学校の	教員が新しい指導法を	生徒の自宅学習の定着	生徒の自宅学習の定着	費用負担の問題	保護者の理解を得る必要がある	その他	特に課題と思う事は
全体		100	11	17	31	26	3	4	30	
		100.0%	11.0%	17.0%	31.0%	26.0%	3.0%	4.0%	30.0%	
高等学校教員		50	5	8	14	14	2	2	16	
		100.0%	10.0%	16.0%	28.0%	28.0%	4.0%	4.0%	32.0%	
高等学校教員	20代	1	-	-	-	-	-	-	-	
		100.0%	-	-	-	-	-	-	-	
	30代	9	2	1	4	6	-	-	2	
		100.0%	22.2%	11.1%	44.4%	66.7%	-	-	22.2%	
	40代	8	-	-	1	1	1	-	4	
		100.0%	-	-	12.5%	12.5%	12.5%	-	50.0%	
50代	27	3	7	7	6	1	2	8		
	100.0%	11.1%	25.9%	25.9%	22.2%	3.7%	7.4%	29.6%		
60代	5	-	-	2	1	-	-	2		
	100.0%	-	-	40.0%	20.0%	-	-	40.0%		
大学教員		50	6	9	17	12	1	2	14	
		100.0%	12.0%	18.0%	34.0%	24.0%	2.0%	4.0%	28.0%	
大学教員	20代	-	-	-	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	-	-	-	
	30代	10	2	1	4	2	-	-	3	
		100.0%	20.0%	10.0%	40.0%	20.0%	-	-	30.0%	
	40代	16	3	4	7	2	-	1	5	
		100.0%	18.8%	25.0%	43.8%	12.5%	-	6.3%	31.3%	
50代	15	1	1	5	7	1	-	2		
	100.0%	6.7%	6.7%	33.3%	46.7%	6.7%	-	13.3%		
60代	9	-	3	1	1	-	1	4		
	100.0%	-	33.3%	11.1%	11.1%	-	11.1%	44.4%		

・高校教員、大学教員共に「授業ビデオ作成における教員側の負担」がもっとも多い。

・「特に課題はない」も3割に上った。

その他…それに向く生徒ばかりではない(高校教員・50代男性)、コンテンツの著作権に関すること(大学教員・40代男性)、このような実験的授業自体やめるべき(大学教員・60代男性)、よくわからない(高校教員・50代女性)

## ■「授業ビデオ作成における教員側の負担」についての改善案

教員個人ではなく、同一教科集団で共同制作する(大学教員・50代男性)
学校オリジナルのビデオを作成する時間がない(高校教員・50代男性)
ビデオを作成する専門部署を校内につくる(高校教員・50代男性)
授業を倍やるのと同じになるので、大変そう(大学教員・30代男性)
教科書のように専門のスタッフが作成する(大学教員・50代女性)
ビデオライブラリーの整備(高校教員・50代男性)
授業ビデオ作成のマニュアルなどがあれば便利だと思う(高校教員・30代男性)
教材作りは素材集めなどたいへんだと思う(大学教員・40代男性)
フォーマットの作成を行う(大学教員・40代男性)
コンテンツのフォーマットやツールなどの共有化(大学教員・40代男性)
外部業者に受託(大学教員・30代女性)
学校にビデオ作成に必要な機器を導入してもらおう。バックアップ体制を用意してもらおう(大学教員・30代女性)
負担どころではなく、難しい。AV作成専任スタッフがいるとか、専門の業者を利用して、共通(標準)のビデオを作って提供する必要あり(大学教員・60代男性)
忙しすぎる現場では不可能(高校教員・50代男性)

アンケートから一部抜粋

- ・忙しい教員たちにとって「授業ビデオ作成」という新たな仕事は負担が大きい(全体の37%)。
- ・対策としては、外部業者への委託や学校内への専門部署設立、フォーマットの作成などが挙げられた。

## ■「授業運営など学校のシステム上の問題」についての改善案

実践していない受講生に対しどうやってフォローしていくか？運営委員会にてじっくりと検討する(大学教員・40代男性)

事前に教員同士で模擬講義を行う(大学教員・40代男性)

学校の理解を得る必要がある。(大学教員・30代女性)

教材活用のための設備とその維持(大学教員・40代男性)

情報システムが乏しい(大学教員・50代男性)

費用がかかりそう(高校教員・30代女性)

システムを統一化して、よくわからない教諭でも簡単に操作できるようにする(高校教員・30代女性)

ある程度のモデル授業を教育委員会とが作成する(高校教員・50代男性)

現場の教員を増やさなければ無理。一クラスが、20人くらいなら余裕は出る(高校教員・50代男性)

アンケートから一部抜粋

- ・授業スタイルの変化に伴い、学校のシステム面も変革が必要不可欠だと考えられるが、それ自体を課題(障害)と捉える教員は少ない(全体の11%)。

## ■「教員が新しい指導法を学ぶ必要がある」についての改善案

教員のやる気を引き出すのが問題(大学教員・40代男性)
指導法を学べるセミナーなどへの出席(大学教員・30代男性)
モデルケースをビデオ教材や授業参観で実際に体験する(大学教員・40代女性)
指導法を学ぶ機会が少ない(大学教員・40代男性)
教員の意識改革(大学教員・60代男性)
このような指導方法を認めない教員もいる(高校教員・30代男性)
研修が必要(高校教員・50代男性)
研修する時間の確保(高校教員・50代男性)
授業に十分な準備をする(高校教員・50代男性)
指導事例の提示(高校教員・50代男性)
指導方法の共有(高校教員・50代男性)
今でも忙しいのに、現実的ではない(高校教員・50代男性)

アンケートから一部抜粋

- ・全体の17%が「教員が新しい指導法を学ぶ必要がある」と回答。
- ・セミナー・研修の受講や指導方法の共有、教員の意識改革の必要性が挙げられた。

## ■「生徒/学生の自宅学習の定着化が難しい」についての改善案

授業開始前に簡単な確認テストを実施(大学教員・40代男性)
公平な成績評価と単位認定(大学教員・40代男性)
自宅学習の点数化(大学教員・60代男性)
自宅学習ではなく学校で個別学習(一人でVTRを見る)にする(大学教員・40代女性)
早送りはできなくする(大学教員・40代男性)
一般的な宿題もしてこない生徒がいる(高校教員・30代男性)
一番難しい。どうモチベーションをあげたらいいか(高校教員・50代男性)
自宅学習は本人次第だと思う(高校教員・60代男性)
個人差と動機づけが必要(高校教員・50代男性)
小学校から定着化を図る必要がある(高校教員・50代男性)
改善案はない。出来る生徒はどんどんやるし出来ない生徒は置いてけぼりにあう。格差の拡大を産むが出来る側にはメリットは多いはず(高校教員・60代男性)
部活動を学校教育から切り離す(高校教員・50代男性)
部活動生徒への配慮(高校教員・50代男性)
最初は、興味を持つかもしれないが、あきる子も出てくる(高校教員・50代男性)

アンケートから一部抜粋

- ・生徒/学生の自宅学習に不安を感じる教員は多い(全体の31%)。
- ・対策としては、「授業前に確認テストを実施」「自宅学習の点数化」などが挙げられた。
- ・一方で、「自宅学習は本人次第」「小学校から定着化を図る必要がある」といった声も。

## ■「生徒/学生宅のインターネット整備やタブレットの費用負担の問題」についての改善案

在校時に予めダウンロードさせる、一斉購入を行うことでなるべく安価にする(大学教員・40代男性)
授業料に含める(大学教員・30代男性)
タブレット端末などの無料配布(大学教員・50代男性)
導入機材の性能レベルを一定にした上で、最初は無料で多数のメーカーを試験的に導入させて競争させ、価格も最低にしたところの機種を採用する(大学教員・50代男性)
学校に自習室のようなものを整備して、学校で予習をする(大学教員・50代女性)
無料配布(大学教員・60代男性)
従来型との併用(大学教員・50代男性)
国や県が用意する(高校教員・60代男性)
学校による貸与(高校教員・50代男性)
レンタルやリース(高校教員・40代男性)
文科省が積極的に予算を確保する(高校教員・50代男性)
国が教育にもっとお金をかけるべき(高校教員・50代男性)
文科省が、受益者負担ということを続ける限り、未来はない(高校教員・50代男性)

アンケートから一部抜粋

- ・自宅学習のためのインターネット環境や端末をどうするかという懸念も少なくない(全体の26%)。
- ・学校側が負担、生徒側が負担という意見のほか、「レンタルやリースで対応」「国が教育にもっとお金をかけるべき」「一斉購入を行いなるべく安価に導入する」など様々な意見が見られた。

## ■「保護者の理解を得る必要がある」についての改善案

現状として難しい(高校教員・40代女性)

費用は理解を得られない。(高校教員・50代男性)

肖像権も含め、承諾書を求める(大学教員・50代女性)

・保護者の理解を得られるかどうかの懸念は、現状ではさほど多くないようだ(全体の3%)。

## ■その他の課題についての改善案

それに向く生徒ばかりではない	限定的な適応、対象生徒の「選別」(高校教員・50代男性)
コンテンツの著作権に関すること	著作権の専門家による審査、あるいは認証制度の整備(大学教員・40代男性)
このような実験的授業自体やめるべき	学生と教員の間にもあまり多くの機材を介在させない方が良い。今の学生が求めているものは「新しい授業」ではなく、多少なりとも心の交流が感じられるものなのだから(大学教員・60代男性)

アンケートから一部抜粋

・個々の生徒/学生に合わせた対応やコンテンツの著作権に関する課題も挙げられた。

## ■設問6

反転授業と通常の授業ではどちらの方が総合的な学習時間が増えると思いますか？

		全体	1 反 転 授 業	2 反 い ど ち ら か と 授 業	3 通 い ど ち ら か と 授 業	4 通 常 授 業
全体		100 100.0%	8 8.0%	40 40.0%	33 33.0%	19 19.0%
高等学校教員		50 100.0%	6 12.0%	17 34.0%	19 38.0%	8 16.0%
高等学校教員	20代	1 100.0%	— —	— —	1 100.0%	— —
	30代	9 100.0%	3 33.3%	4 44.4%	2 22.2%	— —
	40代	8 100.0%	1 12.5%	1 12.5%	4 50.0%	2 25.0%
	50代	27 100.0%	2 7.4%	9 33.3%	11 40.7%	5 18.5%
	60代	5 100.0%	— —	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%
大学教員		50 100.0%	2 4.0%	23 46.0%	14 28.0%	11 22.0%
大学教員	20代	— —	— —	— —	— —	— —
	30代	10 100.0%	1 10.0%	5 50.0%	1 10.0%	3 30.0%
	40代	16 100.0%	— —	8 50.0%	6 37.5%	2 12.5%
	50代	15 100.0%	1 6.7%	6 40.0%	5 33.3%	3 20.0%
	60代	9 100.0%	— —	4 44.4%	2 22.2%	3 33.3%

・高校教員は「どちらかといえば通常授業」が38%で最多、大学教員は「どちらかといえば反転授業」が46%で最多。

・反転授業が必ずしも学習時間の増加につながるとは考えられていない。

## ■設問7

反転授業を導入したと仮定した場合、生徒/学生はどのような反応を示すと思いますか？

以下から近いものをお選びください。(複数回答可)

		1	2	3	4	5
全体		に概 取興 組味 む新 心し を学 持習 ちス 好タ 意イ 的ル	取機 り器 組の むタ ブ レ ッ ト な ど I T	学 習 意 欲 が 低 下 す る な ど	そ の 他	特 に 反 応 ／ 変 化 は な い
全体		100	39	18	11	25
		100.0%	39.0%	18.0%	11.0%	25.0%
高等学校教員		50	15	9	5	13
		100.0%	30.0%	18.0%	10.0%	26.0%
高等学校教員	20代	1	-	-	-	1
		100.0%	-	-	-	100.0%
	30代	9	3	2	-	2
		100.0%	33.3%	22.2%	-	22.2%
	40代	8	2	3	-	2
	100.0%	25.0%	37.5%	-	25.0%	
50代	27	4	9	2	4	8
	100.0%	14.8%	33.3%	7.4%	14.8%	29.6%
60代	5	1	1	2	1	-
	100.0%	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%	-
大学教員		50	24	9	6	12
		100.0%	48.0%	18.0%	12.0%	24.0%
大学教員	20代	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-
	30代	10	5	1	2	3
		100.0%	50.0%	10.0%	20.0%	30.0%
	40代	16	8	4	2	3
		100.0%	50.0%	25.0%	12.5%	18.8%
50代	15	3	9	2	1	2
	100.0%	20.0%	60.0%	13.3%	6.7%	13.3%
60代	9	1	2	2	1	4
	100.0%	11.1%	22.2%	22.2%	11.1%	44.4%

「興味関心を持ち好意的に取り組む」「抵抗なく取り組む」があわせて55%。

・高校／大学別、年代別の差異は見られない。

その他…生徒によって異なる(高校教員・50代男性)、最初は面白がると思うが定着化を図るのは難しいと思う(高校教員・50代男性)、出来る生徒は黙々と従うしやらない生徒との格差が果てしなく広がる(高校教員・60代男性)、二極分化(高校教員・50代男性)、学校にもよる。最初はよいかもしれない(高校教員・50代男性)、教員のレベル低下(大学教員・60代男性)、学力差が大きくなるかもしれない(大学教員・40代男性)、自宅での学習をしない生徒が出てくる(大学教員・40代女性)、強制的に家で何かをさせるなんて、嫌がるでしょう(大学教員・30代男性)、自宅学習をサポートもなんとかなると過信し学習せずに講義に臨む学生が増える(大学教員・30代男性)、PC依存症(大学教員・50代男性)

## ■設問8

反転授業やMOOCsといった新しい教育スタイルが今注目されています。こうした現状を踏まえ、今後の教育における課題・期待など、あなたのお考えをお聞かせください。

学習者によって 効果は異なる	本当に学習する意欲をもつ者だけに効果がある方法である。学習意欲をもたずに大学生になる人が増えている昨今、教育サービスの在り方も多用化せざるを得ない(大学教員・40代女性)
	教室内での新しい機器・技術の利用は歓迎すべきだと思うが、講義そのものを学生が自由に視聴する形式にすると、まじめに見る学生とそうでない学生の差が広がると思う(大学教員・30代女性)
	生徒は新しいものに興味を持つが、その多くは始めのうちだけで長続きしない(高校教員・40代男性)
	やる気ある生徒だけ対象にするといいかも(高校教員・30代男性)
	モチベーションの高い生徒は充実できる(高校教員・50代男性)
教員側の準備が 必要	新しい教育のスタイルを全教員に周知させることが必要。反転授業やMOOCsがいいと思っても、そのやり方がよくわからなければ授業に取り入れようとはなかなか思えません(高校教員・30代男性)
	知的好奇心を刺激する場と時間を生徒が手に入れられるのはすばらしい。教員の意識、学習が、現状では追いつかないかも知れない(高校教員・50代男性)
	教員がまず自らのスキルアップを図るのに良いことだと思います(高校教員・50代男性)
環境整備	いつでも視聴できることは大きなメリットと考えるが最大のネックは視聴環境を整える必要があるということ、家庭側にそれを要求せざるを得ないということ。個人的には発展を望んでいる(高校教員・30代男性)
	インターネット環境がない家庭との格差が生じる(高校教員・30代男性)
	各家庭間の経済格差などの社会的条件を改善しないと本質的な問題は解決しない(高校教員・50代男性)
費用問題	システム導入に伴い高額な費用がかかる(大学教員・50代男性)
	すべてを無償とするのには問題があると思う。コンテンツを提供する以上、なんらかの費用を徴収する必要がある(大学教員・40代男性)
理解度チェック の在り方	理解度を測る手段を予め考えておく必要がある(高校教員・50代男性)
	どれだけ理解できたのかの判断が難しいのではないかと(高校教員・50代男性)

・「学習者によって学習効果は異なる」「教員側の準備が必要」「環境整備が必要」といった意見が多く見られた。

その他 課題・懸念	学校が終わってからも塾や予備校などで時間をとられており、家庭でビデオを視聴する時間がないことを心配する(高校教員・50代男性)
	地域格差が解消されそうだが、意欲の持続、定着の確認など生徒のモチベーションを上げることが難しいと思う(高校教員・50代女性)
	カリキュラムをもっと自由に組めるようにしないと実現できない(高校教員・50代男性)
	非常に素晴らしいことだとは思いますが、それぞれの専門科目によっては、まったく不適合だと言わざるを得ないと思う(大学教員・50代男性)
	どこでも高水準の講義を受けられることが、そのまま学力向上に直結するわけではなく、地道な反復学習を定着させるための工夫もさらに必要となる(大学教員・50代男性)
	広く教育の機会を広げる効果はあると思うが、教育する側の準備に対する対価や教育研究に対する価値の低下が懸念されると考える(大学教員・40代男性)
	これが進展すれば、学習者の自立学習が進み、伸びる人はどんどん伸びるだろう。しかし、義務教育等、嫌でも教え込み、覚えさせなければならない事柄の教育がどうなっていくのか心配(大学教員・50代男性)
	学生のやる気を先ずは起こさせないともったいない気がします。中学・高校での学習を見直した方が良い。自分で勉強をする方法を知らない学生で大学はあふれかえていますから(大学教員・50代女性)
	興味を持ち入学を志す学生が増えるのは良いことだと思うが、インターネット上の情報が全てだと勘違いすると間違いを生む原因になるのでリテラシー教育をしっかりと行う必要がある(大学教員・30代男性)
動画投稿サイトにアップされたこの手の講義に関しては間違いも多い。どう対応するのか(大学教員・50代女性)	

・「塾や予備校で忙しい現代の子供たちにビデオ視聴の時間はない」「地道な反復学習こそ必要」「リテラシー教育も併せてすべき」「コンテンツの精度はどうコントロールするのか」といった様々な課題や懸念が挙げられた。

教育効果は期待できない	あまり教育効果は無いと考える(高校教員・60代男性)
	授業形態が変わっただけで、子ども達の学習時間が増えるとは思えません。もっと根深い部分で阻害されているように感じています(高校教員・50代男性)
	話題になっても効果があるかははっきりしていない(大学教員・40代女性)
	便利だがあまり教育的効果はない(大学教員・30代男性)
従来の授業が良い	従来の教育スタイルがよいと思う(高校教員・60代男性)
	フィードバックを得ることが困難なので、やはり通常授業の方がよい(大学教員・50代男性)
	教育は個人と個人の対面が基本中の基本。インターネットに対する期待はしない方がよいです。コスト削減など経営の論理に利用されるだけ(大学教員・30代男性)
教育の在り方が変わる	能力にない学生は卒業させないなど、本来の教育のあり方に移行する(大学教員・60代男性)
	大学に入学することの意義が薄くなる(大学教員・30代男性)

・「教育効果は期待できない」「従来の授業が良い」という意見も。

期待したい	興味・関心のある者がどんどん学習を進められる仕組みには大いに賛成(高校教員・40代男性)
	自宅でドクターコースまでしっかり取れるようなシステムを望んでいる(高校教員・60代男性)
	インターネットの普及により、興味関心のあることを探して講義を受けることができることを大いに期待しています(高校教員・50代男性)
	自分の学びなおしに利用したい。また、金銭的に進学を断念せざるを得ない生徒にとってはよい学びの場となるはずなので、積極的に推進して欲しい(高校教員・40代男性)
	教室内の授業・講義にとどまらず、公開性をもたせるという点に期待したい(大学教員・60代男性)
	人間の持つ、「より良いものを求める気持ち」が刺激され伸ばされる教育になってほしい。ITの発展などがその役に立つと良い(大学教員・50代女性)
	設備投資の負担は増えるが、授業はいずれにしても行う物なので教員の負担はあまり増える事なく大学の知名度、好感度上昇に寄与するので積極的に取り組みたい(大学教員・30代女性)
	日本の大学はレベルが低いので、どしどし導入すべき(大学教員・40代男性)
	目新しいものに飛びつくだけではなく、科学的見地から見た効果をしっかり測定する必要があると思うが、教育効果をあげる取り組みがいろいろと開発されることは基本的に望ましいことだと思う(大学教員・30代男性)
	自分の興味に合わせて好きなものを無料で視聴でき、大変良いと思う。やる気がある学生にとっては自分でどんどん進めることもできる。ただ、同じクラスに学力差やモチベーションの差がある場合、教員側としては非常に授業がしにくい(大学教員・30代女性)

アンケートから一部抜粋

- ・もっとも多かったのは前向きな意見や期待したいという声。
- ・十分な検討の上で、ITやインターネットを発展的教育に活用したいとする教員が多いようだ。

# クロス%表

---

## ■設問1

### 反転授業をご存知ですか？

		全体	1 知 っ て い る	2 聞 詳 い し た く こ は と 知 ら な い が	3 知 ら な い
全体		100.0%	19.0%	22.0%	59.0%
高等学校教員		100.0%	14.0%	30.0%	56.0%
高等学校教員	20代	100.0%	100.0%	-	-
	30代	100.0%	-	22.2%	77.8%
	40代	100.0%	12.5%	12.5%	75.0%
	50代	100.0%	14.8%	37.0%	48.1%
	60代	100.0%	20.0%	40.0%	40.0%
大学教員		100.0%	24.0%	14.0%	62.0%
大学教員	20代	-	-	-	-
	30代	100.0%	20.0%	20.0%	60.0%
	40代	100.0%	12.5%	18.8%	68.8%
	50代	100.0%	40.0%	6.7%	53.3%
	60代	100.0%	22.2%	11.1%	66.7%

・「知っている」  
「聞いたことはある」が  
あわせて41%

・50～60代の高校教員の  
知っている率が比較的  
高い。

## ■設問2

設問1で「知っている」「聞いたことがある」と答えた方にお聞きします。  
あなたの学校では現在、反転授業を行っていますか？

		全体	1 行 っ て い る	2 な い 現 在 は 過 去 に 行 い な い	3 行 っ て い な い
全体		100.0%	2.4%	7.3%	90.2%
高等学校教員		100.0%	-	9.1%	90.9%
高等学校教員	20代	100.0%	-	-	100.0%
	30代	100.0%	-	-	100.0%
	40代	100.0%	-	-	100.0%
	50代	100.0%	-	14.3%	85.7%
	60代	100.0%	-	-	100.0%
大学教員		100.0%	5.3%	5.3%	89.5%
大学教員	20代	-	-	-	-
	30代	100.0%	25.0%	-	75.0%
	40代	100.0%	-	20.0%	80.0%
	50代	100.0%	-	-	100.0%
	60代	100.0%	-	-	100.0%

・90%以上が「反転授業を行ったことはない」と回答。

・30代の大学教員1名が「現在反転授業を行っている」と回答。

・「過去に反転授業を行っていた」のは50代の高校教員2名と40代の大学教員1名。

## ■設問2-1

設問2で「行っている」と答えた方にお聞きします。  
その実施概要と効果についてお答えください。

【実施概要】	【生徒の反応】	【保護者の反応】	【先生ご自身が 感じる効果】
大学院で地域環境に関する授業	積極的に議論している	大学院生の場合保護者とほとんど連絡を取らないのでわからない	授業内容に対する興味が深まっている気がする

回答者：大学教員（30代女性）

N=1

- ・反転授業の実施継続者は、学生たちの積極的な議論・興味関心の深まりなど、一定の効果を実感している。

## ■設問2-2

設問2で「過去に行っていた」と答えた方にお聞きします。  
反転授業を行わなくなった理由は何ですか？

従来の方が教員がなれているので(高校教員・50代男性)

受験指導をするには時間がかかりすぎ、馴染まない(高校教員・50代男性)

学生の数名が授業の予習をしてこないから(大学教員・40代男性)

N=3

- ・反転授業を「現在は行っていないが過去に行っていた」のは3名。
- ・止めた理由は、「反転授業に慣れなかった」「受験指導には不向き」「学生が予習をしてこない」

## ■設問2-3

設問2で「過去に行っていた」「行っていない」と答えた方にお聞きします。  
今後反転授業を行ってみたいと思いますか？また、その理由をお答えください。

		全体	1 行 っ て み た い	2 行 ど っ ち て ら み か た と い い え ば	3 行 ど い ち た ら か な い い え ば	4 行 い た く な い
全体		100.0%	12.5%	55.0%	20.0%	12.5%
高等学校教員		100.0%	9.1%	54.5%	18.2%	18.2%
高等学校教員	20代	100.0%	-	100.0%	-	-
	30代	100.0%	50.0%	50.0%	-	-
	40代	100.0%	-	100.0%	-	-
	50代	100.0%	7.1%	50.0%	21.4%	21.4%
	60代	100.0%	-	33.3%	33.3%	33.3%
大学教員		100.0%	16.7%	55.6%	22.2%	5.6%
大学教員	20代	-	-	-	-	-
	30代	100.0%	33.3%	66.7%	-	-
	40代	100.0%	20.0%	40.0%	40.0%	-
	50代	100.0%	14.3%	71.4%	14.3%	-
	60代	100.0%	-	33.3%	33.3%	33.3%

・「行ってみたい」  
「どちらかといえば行って  
みたい」が67.5%。

・反転授業を知っている  
教員の約7割がその導入  
に前向きである。

・20～40代を中心に若い  
世代の教員の間でとくに  
興味関心が高い。

## <理由>

行ってみたい	現在行っている授業は、反転授業に近いものだと思う(大学教員・50代女性)
	議論こそ、集まってすべきことなので(大学教員・40代男性)
	新しい試みとして、ぜひやってみたい(大学教員・30代男性)
	やる気のない生徒に刺激を与えたいからです(高校教員・30代男性)
	今の形に限界を感じる(高校教員・50代男性)
どちらかといえば行ってみたい	昨今の学生は多分に自分の考えを構想したり人に伝えたりするのが苦手なので(大学教員・40代女性)
	学生が主体的に授業に関われるのでモチベーションが高まると思うが、宿題をしない学生が必ず出るので授業が成立するかどうかわからない(大学教員・30代女性)
	行いたい、授業時間はそのまま教員の負担が増すだけならば意味がない(大学教員・30代男性)
	すべての授業では無理でも、一部に取り入れることで、ここの定着度を理解し、補助することができるかも知れない(高校教員・50代男性)
	通常授業との差異を自身で確認したいから((大学教員・50代男性)
	どのような効果があるか興味がある(高校教員・30代男性)
	受験指導と関係のない学校内での活動でやってみたい(高校教員・50代男性)
	一方的な講義形式ではもはや限界があり、教員も無力感に苛まれているので、事態を打開する一助となる可能性にかけてみたいから(大学教員・50代男性)

アンケートから一部抜粋

- ・導入賛成の理由は、生徒/学生の意欲、思考力、議論・表現能力の向上への期待など。
- ・「すべての授業は無理でも一部で取り入れたい」「受験と関係のない活動でやってみたい」という声も。

## <理由>

どちらかといえば 行ないたくない	あまり効果的とは思わないから(大学教員・40代女性)
	効果がどうなるかまだ曖昧(大学教員・50代男性)
	反転授業を行うための準備に要する時間をとれない(大学教員・40代男性)
	どうやっても今の日本の学生は勉強をしないと思う(大学教員・60代男性)
	生徒が、講義ビデオを事前に見てくるようには思わないから(高校教員・60代男性)
	未経験の領域なため(高校教員・50代男性)
行ないたくない	興味ない(大学教員・60代男性)
	効果なし(高校教員・60代男性)
	余裕がない(高校教員・50代女性)
	授業ではないから(高校教員・50代男性)
	実施しようと思わないので(高校教員・50代男性)

アンケートから一部抜粋

- ・導入反対の理由は、「効果がない」「準備時間がない」「生徒/学生が事前学習 に対応できない」が多い。

## ■設問2-4

設問2で「過去に行っていた」「行っていない」と答えた方にお聞きします。  
今後反転授業を行うと仮定した場合、不安な点を教えてください。(複数回答可)

		1	2	3	4	5	6	7	
全体		ない	に教	し生	学	の	そ	特	
		教材	材	生徒	力	実	他	に	
		作成	時間	が	格	際		不安	
		の	作成	が	差	の		な	
		方法	をと	事	の	授		点	
		が	なら	前	広	業		は	
		わか	れ	に	がり	の		な	
		ら	の	自		場		い	
			事	宅		で			
			前	学		の			
			準	習		生			
			備	を		徒			
全体		100.0%	20.0%	55.0%	62.5%	32.5%	27.5%	-	10.0%
高等学校教員		100.0%	31.8%	63.6%	50.0%	40.9%	27.3%	-	9.1%
高等学校教員	20代	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	-
	30代	100.0%	50.0%	50.0%	50.0%	-	-	-	-
	40代	100.0%	50.0%	50.0%	100.0%	50.0%	-	-	-
	50代	100.0%	28.6%	71.4%	35.7%	42.9%	28.6%	-	7.1%
	60代	100.0%	-	33.3%	66.7%	33.3%	33.3%	-	33.3%
大学教員		100.0%	5.6%	44.4%	77.8%	22.2%	27.8%	-	11.1%
大学教員	20代	-	-	-	-	-	-	-	-
	30代	100.0%	-	33.3%	100.0%	-	-	-	-
	40代	100.0%	20.0%	80.0%	80.0%	60.0%	60.0%	-	-
	50代	100.0%	-	42.9%	71.4%	14.3%	28.6%	-	14.3%
	60代	100.0%	-	-	66.7%	-	-	-	33.3%

・高校教員は「教材作成などの事前準備に時間をとられてしまう」63.6%が最多。「教材作成の方法がわからない」も31.8%で、教材作成に関する不安感が強いことが読み取れる。

・大学教員は「生徒/学生が事前に自宅学習をしてこない」が最多で77.8%。自宅学習率が低い現代の大学生事情がうかがえる。

### ■設問3

反転授業に興味はありますか？またその理由をお答えください。

		全体	1 大変興味がある	2 どちらかといえば興味がある	3 どちらともいえない	4 興味がない
全体		100.0%	11.0%	43.0%	28.0%	18.0%
高等学校教員		100.0%	8.0%	42.0%	28.0%	22.0%
高等学校教員	20代	100.0%	—	100.0%	—	—
	30代	100.0%	11.1%	55.6%	33.3%	—
	40代	100.0%	—	50.0%	37.5%	12.5%
	50代	100.0%	11.1%	33.3%	25.9%	29.6%
	60代	100.0%	—	40.0%	20.0%	40.0%
大学教員		100.0%	14.0%	44.0%	28.0%	14.0%
大学教員	20代	—	—	—	—	—
	30代	100.0%	30.0%	30.0%	20.0%	20.0%
	40代	100.0%	18.8%	50.0%	25.0%	6.3%
	50代	100.0%	6.7%	53.3%	26.7%	13.3%
	60代	100.0%	—	33.3%	44.4%	22.2%

・「大変興味がある」  
「どちらかといえば興味がある」をあわせて54%。

・高校／大学別、年代別の差異は見られない。

## &lt;理由&gt;

大変興味がある	一斉授業に限界を感じているから。(高校教員・50代男性)
	現在の授業スタイルに限界を感じている(高校教員・50代男性)
	大学でも活用したい(大学教員・40代男性)
	学習効果は明らかに高まるから(大学教員・30代男性)
	新しい教育活動の試みとして非常に興味深い。ディスカッションを行うにあたり知識の不足分をどこで行うかという点において非常に興味深い。(大学教員・30代男性)
	自分の考えをまとめたり他者の意見に評価を与えたりと、コミュニケーション能力向上が図れる(大学教員・50代男性)

アンケートから一部抜粋

- ・反転授業に大変興味があると答えた教員は、その理由として「現行の授業スタイルからの脱却」「学習効果の向上」などを挙げた。

## <理由>

どちらかといえば 興味がある	考える力を養うためには反転授業は有効であると思うから(高校教員・50代男性)
	思考力を養う効果的な方法だと思うから(大学教員・40代女性)
	従来の授業だと一方的になりがちだが、反転授業は学生主体で考える力や自主性を伸ばせると思う(大学教員・30代女性)
	講義は動画でもよい。議論こそ授業として意味があるから(大学教員・40代男性)
	ICT機器を利用した授業に興味がある(高校教員・50代男性)
	通常授業との教育効果の違いに興味がある(大学教員・50代男性)
	受け身の授業より理解が深まる気がする(大学教員・30代女性)
	自宅学習をしっかりとこなせるだけの生徒の質が高くないと実現できないという壁があるが、それができるなら面白い授業ができると思う(高校教員・30代女性)
	大学ゼミなどで学生の基礎知識が足りずに議論が成熟しないことがあるので、そういう場合に使いやすそう(大学教員・30代男性)
	興味はあるが、今の学生に自宅で勉強する意欲があるか疑問(大学教員・60代男性)
	ディスカッションは大変よいがPCによる事前授業というのがPCにあまりに傾倒しすぎる(大学教員・50代男性)
	これから、パソコンでなくタブレットの普及によって、授業の形態のヴァリエーションが増えそうだから(高校教員・50代男性)
選択肢の通り、それ以上でもそれ以下でもない(大学教員・40代男性)	

アンケートから一部抜粋

・生徒/学生の自主性や思考力、議論・表現能力の向上に期待する声も多い。

## &lt;理由&gt;

どちらともいえない	実際に授業効果があるのか疑問(高校教員・60代男性)
	少人数でのクラス編成をしなければ効果がないと思う(高校教員・50代男性)
	実習系の教科では効果が期待できない(大学教員・40代男性)
	教科内容による(大学教員・50代男性)
	詳細を知らないから(大学教員・50代女性)
	展開を経験してみないとメリット・デメリットが判断できない(高校教員・50代男性)
	コンテンツをどうするのか、という疑問がある(高校教員・40代男性)
	準備が必要になるが、時間ができるかどうかわからないから(高校教員・40代男性)
	大学生はアルバイトに忙しく自宅学習をしないので実現が難しい(大学教員・60代男性)
	よく詳細が分からないので。(高校教員・40代男性)
興味がない	今のところそのような環境にはないからできない(高校教員・60代男性)
	学びに対するモチベーションや家庭環境が様々なので、そうそう成功するわけがないと思う(高校教員・40代男性)
	今までやってきた授業を否定することになりそうだから(高校教員・50代男性)
	顔を合わせてする授業のほうが好きだから(大学教員・40代男性)
	効果ないと思うから(高校教員・60代男性)
	これだけの説明では…(高校教員・50代男性)
	余裕がない(高校教員・50代女性)

アンケートから一部抜粋

- ・「学習効果があるかどうか疑問」「事前準備をする時間がない」「環境が整っていない」が主な理由。
- ・「詳細を知らない」など、反転授業についてよくわからないという教員も少なくない。

## ■設問4

反転授業のメリットは以下のどれだと考えますか？(複数回答可)

	全体	1 生徒の自宅での学習時間増加	2 生徒の自宅学習の習慣化	3 自宅で基礎学習をすることで授業では応用を学べる	4 授業をディスカッションや思考能力を育成する時間にレベルアップできる	5 生徒がわからないところを事前に明確にすることができないところを事前に明確にすることができる	6 教室で生徒一人ひとりにきめ細かい指導ができる	7 生徒が自宅で授業ビデオを繰り返し視聴できる	8 成績向上につながる	9 その他	10 メリットと思うものはない
全体	100.0%	28.0%	28.0%	28.0%	36.0%	26.0%	15.0%	22.0%	5.0%	4.0%	17.0%
高等学校教員	100.0%	26.0%	30.0%	26.0%	28.0%	28.0%	16.0%	22.0%	6.0%	6.0%	22.0%
高等学校教員	20代	100.0%	-	100.0%	-	-	-	-	-	-	-
	30代	100.0%	33.3%	55.6%	33.3%	33.3%	44.4%	-	44.4%	22.2%	11.1%
	40代	100.0%	50.0%	37.5%	12.5%	12.5%	37.5%	25.0%	25.0%	-	-
	50代	100.0%	14.8%	18.5%	22.2%	25.9%	25.9%	18.5%	7.4%	3.7%	7.4%
	60代	100.0%	40.0%	20.0%	60.0%	60.0%	-	20.0%	60.0%	-	-
大学教員	100.0%	30.0%	26.0%	30.0%	44.0%	24.0%	14.0%	22.0%	4.0%	2.0%	
大学教員	20代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30代	100.0%	30.0%	20.0%	50.0%	70.0%	30.0%	10.0%	40.0%	-	-
	40代	100.0%	43.8%	25.0%	18.8%	43.8%	31.3%	6.3%	12.5%	12.5%	6.3%
	50代	100.0%	26.7%	40.0%	40.0%	46.7%	6.7%	20.0%	20.0%	-	-
	60代	100.0%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	33.3%	22.2%	22.2%	-	-

その他…学習に興味を持つようになる(高校教員・30代男性)、効果的な生徒には効果はあるがそういう生徒が多いとは限らない(高校教員・50代男性)、よくわかりません(高校教員・50代男性)、講義時間の効率化(大学教員・40代男性)

・高校教員は「生徒の自宅学習の習慣化」が30%で最多。

・大学教員は「授業をディスカッションや思考能力育成の時間にレベルアップできる」が44%で最多。

## ■設問5

反転授業の課題は以下のどれだと考えますか？また、その改善案として考えられる事柄を教えてください。(複数回答可)

		1	2	3	4	5	6	7	8	
全体		員授 側業 のビ デオ 作 成に お ける 教 師 の 負 担	ム授 上業 の運 営な ど学 校の シ ス テ ム	必 要 が あ る 新 し い 指 導 法 を 学 ぶ	難 し い 自 宅 学 習 の 定 着 化 が	の備 や生 徒 宅 の ブ レ イ ン タ ー の 費 用 負 担 整	あ保 る護 者 の 理 解 を 得 る 必 要 が	そ の 他	特 に 課 題 と 思 う 事 は な い	
全体		100.0%	37.0%	11.0%	17.0%	31.0%	26.0%	3.0%	4.0%	30.0%
高等学校教員		100.0%	34.0%	10.0%	16.0%	28.0%	28.0%	4.0%	4.0%	32.0%
高等学校教員	20代	100.0%	100.0%	-	-	-	-	-	-	-
	30代	100.0%	33.3%	22.2%	11.1%	44.4%	66.7%	-	-	22.2%
	40代	100.0%	37.5%	-	-	12.5%	12.5%	12.5%	-	50.0%
	50代	100.0%	33.3%	11.1%	25.9%	25.9%	22.2%	3.7%	7.4%	29.6%
	60代	100.0%	20.0%	-	-	40.0%	20.0%	-	-	40.0%
大学教員		100.0%	40.0%	12.0%	18.0%	34.0%	24.0%	2.0%	4.0%	28.0%
大学教員	20代	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30代	100.0%	70.0%	20.0%	10.0%	40.0%	20.0%	-	-	30.0%
	40代	100.0%	31.3%	18.8%	25.0%	43.8%	12.5%	-	6.3%	31.3%
	50代	100.0%	33.3%	6.7%	6.7%	33.3%	46.7%	6.7%	-	13.3%
	60代	100.0%	33.3%	-	33.3%	11.1%	11.1%	-	11.1%	44.4%

その他…それに向く生徒ばかりではない(高校教員・50代男性)、コンテンツの著作権に関すること(大学教員・40代男性)、このような実験的授業自体やめるべき(大学教員・60代男性)、よくわからない(高校教員・50代女性)

・高校教員、大学教員共に「授業ビデオ作成における教員側の負担」がもっとも多い。

・「特に課題はない」も3割に上った。

## ■「授業ビデオ作成における教員側の負担」についての改善案

教員個人ではなく、同一教科集団で共同制作する(大学教員・50代男性)
学校オリジナルのビデオを作成する時間がない(高校教員・50代男性)
ビデオを作成する専門部署を校内につくる(高校教員・50代男性)
授業を倍やるのと同じになるので、大変そう(大学教員・30代男性)
教科書のように専門のスタッフが作成する(大学教員・50代女性)
ビデオライブラリーの整備(高校教員・50代男性)
授業ビデオ作成のマニュアルなどがあれば便利だと思う(高校教員・30代男性)
教材作りは素材集めなどたいへんだと思う(大学教員・40代男性)
フォーマットの作成を行う(大学教員・40代男性)
コンテンツのフォーマットやツールなどの共有化(大学教員・40代男性)
外部業者に受託(大学教員・30代女性)
学校にビデオ作成に必要な機器を導入してもらおう。バックアップ体制を用意してもらおう(大学教員・30代女性)
負担どころではなく、難しい。AV作成専任スタッフがいるとか、専門の業者を利用して、共通(標準)のビデオを作って提供する必要あり(大学教員・60代男性)
忙しすぎる現場では不可能(高校教員・50代男性)

アンケートから一部抜粋

- ・忙しい教員たちにとって「授業ビデオ作成」という新たな仕事は負担が大きい(全体の37%)。
- ・対策としては、外部業者への委託や学校内への専門部署設立、フォーマットの作成などが挙げられた。

## ■「授業運営など学校のシステム上の問題」についての改善案

実践していない受講生に対しどうやってフォローしていくか？運営委員会にてじっくりと検討する(大学教員・40代男性)
事前に教員同士で模擬講義を行う(大学教員・40代男性)
学校の理解を得る必要がある。(大学教員・30代女性)
教材活用のための設備とその維持(大学教員・40代男性)
情報システムが乏しい(大学教員・50代男性)
費用がかかりそう(高校教員・30代女性)
システムを統一化して、よくわからない教諭でも簡単に操作できるようにする(高校教員・30代女性)
ある程度のモデル授業を教育委員会とが作成する(高校教員・50代男性)
現場の教員を増やさなければ無理。一クラスが、20人くらいなら余裕は出る(高校教員・50代男性)

アンケートから一部抜粋

- ・授業スタイルの変化に伴い、学校のシステム面も変革が必要不可欠だと考えられるが、それ自体を課題(障害)と捉える教員は少ない(全体の11%)。

## ■「教員が新しい指導法を学ぶ必要がある」についての改善案

教員のやる気を引き出すのが問題(大学教員・40代男性)
指導法を学べるセミナーなどへの出席(大学教員・30代男性)
モデルケースをビデオ教材や授業参観で実際に体験する(大学教員・40代女性)
指導法を学ぶ機会が少ない(大学教員・40代男性)
教員の意識改革(大学教員・60代男性)
このような指導方法を認めない教員もいる(高校教員・30代男性)
研修が必要(高校教員・50代男性)
研修する時間の確保(高校教員・50代男性)
授業に十分な準備をする(高校教員・50代男性)
指導事例の提示(高校教員・50代男性)
指導方法の共有(高校教員・50代男性)
今でも忙しいのに、現実的ではない(高校教員・50代男性)

アンケートから一部抜粋

- ・全体の17%が「教員が新しい指導法を学ぶ必要がある」と回答。
- ・セミナー・研修の受講や指導方法の共有、教員の意識改革などの必要性が挙げられた。

## ■「生徒/学生の自宅学習の定着化が難しい」についての改善案

授業開始前に簡単な確認テストを実施(大学教員・40代男性)
公平な成績評価と単位認定(大学教員・40代男性)
自宅学習の点数化(大学教員・60代男性)
自宅学習ではなく学校で個別学習(一人でVTRを見る)にする(大学教員・40代女性)
早送りはできなくする(大学教員・40代男性)
一般的な宿題もしてこない生徒がいる(高校教員・30代男性)
一番難しい。どうモチベーションをあげたらいいか(高校教員・50代男性)
自宅学習は本人次第だと思う(高校教員・60代男性)
個人差と動機づけが必要(高校教員・50代男性)
小学校から定着化を図る必要がある(高校教員・50代男性)
改善案はない。出来る生徒はどんどんやるし出来ない生徒は置いてけぼりにあう。格差の拡大を産むが出来る側にはメリットは多いはず(高校教員・60代男性)
部活動を学校教育から切り離す(高校教員・50代男性)
部活動生徒への配慮(高校教員・50代男性)
最初は、興味を持つかもしれないが、あきる子も出てくる(高校教員・50代男性)

アンケートから一部抜粋

- ・生徒/学生の自宅学習に不安を感じる教員は多い(全体の31%)。
- ・対策としては、「授業前に確認テストを実施」「自宅学習の点数化」などが挙げられた。
- ・一方で、「自宅学習は本人次第」「小学校から定着化を図る必要がある」といった声も。

## ■「生徒/学生宅のインターネット整備やタブレットの費用負担の問題」についての改善案

在校時に予めダウンロードさせる、一斉購入を行うことでなるべく安価にする(大学教員・40代男性)
授業料に含める(大学教員・30代男性)
タブレット端末などの無料配布(大学教員・50代男性)
導入機材の性能レベルを一定にした上で、最初は無料で多数のメーカーを試験的に導入させて競争させ、価格も最低にしたところの機種を採用する(大学教員・50代男性)
学校に自習室のようなものを整備して、学校で予習をする(大学教員・50代女性)
無料配布(大学教員・60代男性)
従来型との併用(大学教員・50代男性)
国や県が用意する(高校教員・60代男性)
学校による貸与(高校教員・50代男性)
レンタルやリース(高校教員・40代男性)
文科省が積極的に予算を確保する(高校教員・50代男性)
国が教育にもっとお金をかけるべき(高校教員・50代男性)
文科省が、受益者負担ということを続ける限り、未来はない(高校教員・50代男性)

アンケートから一部抜粋

- ・自宅学習のためのインターネット環境や端末をどうするかという懸念も少なくない(全体の26%)。
- ・学校側が負担、生徒側が負担という意見のほか、「レンタルやリースで対応」「国が教育にもっとお金をかけるべき」「一斉購入を行いなるべく安価に導入する」など様々な意見が見られた。

## ■「保護者の理解を得る必要がある」についての改善案

現状として難しい(高校教員・40代女性)

費用は理解を得られない。(高校教員・50代男性)

肖像権も含め、承諾書を求める(大学教員・50代女性)

・保護者の理解を得られるかどうかの懸念は、現状ではさほど多くないようだ(全体の3%)。

## ■その他の課題についての改善案

それに向く生徒ばかりではない	限定的な適応、対象生徒の「選別」(高校教員・50代男性)
コンテンツの著作権に関すること	著作権の専門家による審査、あるいは認証制度の整備(大学教員・40代男性)
このような実験的授業自体やめるべき	学生と教員の間にもあまり多くの機材を介在させない方が良い。今の学生が求めているものは「新しい授業」ではなく、多少なりとも心の交流が感じられるものなのだから(大学教員・60代男性)

アンケートから一部抜粋

・個々の生徒/学生に合わせた対応やコンテンツの著作権に関する課題も挙げられた。

## ■設問6

反転授業と通常の授業ではどちらの方が総合的な学習時間が増えると思いますか？

		全体	1 反 転 授 業	2 反 ど ち ら か と い え ば	3 通 ど ち ら か と い え ば	4 通 常 授 業
全体		100.0%	8.0%	40.0%	33.0%	19.0%
高等学校教員		100.0%	12.0%	34.0%	38.0%	16.0%
高等学校教員	20代	100.0%	—	—	100.0%	—
	30代	100.0%	33.3%	44.4%	22.2%	—
	40代	100.0%	12.5%	12.5%	50.0%	25.0%
	50代	100.0%	7.4%	33.3%	40.7%	18.5%
	60代	100.0%	—	60.0%	20.0%	20.0%
大学教員		100.0%	4.0%	46.0%	28.0%	22.0%
大学教員	20代	—	—	—	—	—
	30代	100.0%	10.0%	50.0%	10.0%	30.0%
	40代	100.0%	—	50.0%	37.5%	12.5%
	50代	100.0%	6.7%	40.0%	33.3%	20.0%
	60代	100.0%	—	44.4%	22.2%	33.3%

・高校教員は「どちらかといえば通常授業」が38%で最多、大学教員は「どちらかといえば反転授業」が46%で最多。

・反転授業が必ずしも学習時間の増加につながるとは考えられていない。

## ■設問7

反転授業を導入したと仮定した場合、生徒/学生はどのような反応を示すと思いますか？

以下から近いものをお選びください。(複数回答可)

		1	2	3	4	5	
全体		心を概 ね持新 ちし 好意学 的にス 取りイ 組ル むに興 味関	用概 にね もタ 抵ブ 抗レ なく 取り 組I むT 機器 の使	なる学 習意 欲が 低下 する など 悪影 響と	その 他	特に反 応／ 変化 はない	
全体		100.0%	16.0%	39.0%	18.0%	11.0%	25.0%
高等学校教員		100.0%	16.0%	30.0%	18.0%	10.0%	26.0%
高等学校教員	20代	100.0%	-	-	-	-	100.0%
	30代	100.0%	22.2%	33.3%	22.2%	-	22.2%
	40代	100.0%	12.5%	25.0%	37.5%	-	25.0%
	50代	100.0%	14.8%	33.3%	7.4%	14.8%	29.6%
	60代	100.0%	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%	-
大学教員		100.0%	16.0%	48.0%	18.0%	12.0%	24.0%
大学教員	20代	-	-	-	-	-	-
	30代	100.0%	20.0%	50.0%	10.0%	20.0%	30.0%
	40代	100.0%	12.5%	50.0%	25.0%	12.5%	18.8%
	50代	100.0%	20.0%	60.0%	13.3%	6.7%	13.3%
	60代	100.0%	11.1%	22.2%	22.2%	11.1%	44.4%

・「興味関心を持ち好意的に取り組む」「抵抗なく取り組む」があわせて55%。

・高校／大学別、年代別の差異は見られない。

その他…生徒によって異なる(高校教員・50代男性)、最初は面白がると思うが定着化を図るのは難しいと思う(高校教員・50代男性)、出来る生徒は黙々と従うしやらない生徒との格差が果てしなく広がる(高校教員・60代男性)、二極分化(高校教員・50代男性)、学校にもよる。最初はよいかもしれない(高校教員・50代男性)、教員のレベル低下(大学教員・60代男性)、学力差が大きくなるかもしれない(大学教員・40代男性)、自宅での学習をしない生徒が出てくる(大学教員・40代女性)、強制的に家で何かをさせるなんて、嫌がるでしょう(大学教員・30代男性)、自宅学習をサポートもなんとかないと過信し学習せずに講義に臨む学生が増える(大学教員・30代男性)、PC依存症(大学教員・50代男性)

## ■設問8

反転授業やMOOCsといった新しい教育スタイルが今注目されています。こうした現状を踏まえ、今後の教育における課題・期待など、あなたのお考えをお聞かせください。

学習者によって 効果は異なる	本当に学習する意欲をもつ者だけに効果がある方法である。学習意欲をもたずに大学生になる人が増えている昨今、教育サービスの在り方も多用化せざるを得ない(大学教員・40代女性)
	教室内での新しい機器・技術の利用は歓迎すべきだと思うが、講義そのものを学生が自由に視聴する形式にすると、まじめに見る学生とそうでない学生の差が広がると思う(大学教員・30代女性)
	生徒は新しいものに興味を持つが、その多くは始めのうちだけで長続きしない(高校教員・40代男性)
	やる気ある生徒だけ対象にするといいかも(高校教員・30代男性)
	モチベーションの高い生徒は充実できる(高校教員・50代男性)
教員側の準備が 必要	新しい教育のスタイルを全教員に周知させることが必要。反転授業やMOOCsがいいと思っても、そのやり方がよくわからなければ授業に取り入れようとはなかなか思えません(高校教員・30代男性)
	知的好奇心を刺激する場と時間を生徒が手に入れられるのはすばらしい。教員の意識、学習が、現状では追いつかないかも知れない(高校教員・50代男性)
	教員がまず自らのスキルアップを図るのに良いことだと思います(高校教員・50代男性)
環境整備	いつでも視聴できることは大きなメリットと考えるが最大のネックは視聴環境を整える必要があるということ、家庭側にそれを要求せざるを得ないということ。個人的には発展を望んでいる(高校教員・30代男性)
	インターネット環境がない家庭との格差が生じる(高校教員・30代男性)
	各家庭間の経済格差などの社会的条件を改善しないと本質的な問題は解決しない(高校教員・50代男性)
費用問題	システム導入に伴い高額な費用がかかる(大学教員・50代男性)
	すべてを無償とするのには問題があると思う。コンテンツを提供する以上、なんらかの費用を徴収する必要がある(大学教員・40代男性)
理解度チェック の在り方	理解度を測る手段を予め考えておく必要がある(高校教員・50代男性)
	どれだけ理解できたのかの判断が難しいのではないかと(高校教員・50代男性)

・「学習者によって学習効果は異なる」「教員側の準備が必要」「環境整備が必要」といった意見が多く見られた。

その他 課題・懸念	学校が終わってからも塾や予備校などで時間をとられており、家庭でビデオを視聴する時間がないことを心配する(高校教員・50代男性)
	地域格差が解消されそうだが、意欲の持続、定着の確認など生徒のモチベーションを上げることが難しいと思う(高校教員・50代女性)
	カリキュラムをもっと自由に組めるようにしないと実現できない(高校教員・50代男性)
	非常に素晴らしいことだとは思いますが、それぞれの専門科目によっては、まったく不適合だと言わざるを得ないと思う(大学教員・50代男性)
	どこでも高水準の講義を受けられることが、そのまま学力向上に直結するわけではなく、地道な反復学習を定着させるための工夫もさらに必要となる(大学教員・50代男性)
	広く教育の機会を広げる効果はあると思うが、教育する側の準備に対する対価や教育研究に対する価値の低下が懸念されると考える(大学教員・40代男性)
	これが進展すれば、学習者の自立学習が進み、伸びる人はどんどん伸びるだろう。しかし、義務教育等、嫌でも教え込み、覚えさせなければならぬ事柄の教育がどうなっていくのか心配(大学教員・50代男性)
	学生のやる気を先ずは起こさせないともったいない気がします。中学・高校での学習を見直した方が良い。自分で勉強をする方法を知らない学生で大学はあふれかえっていますから(大学教員・50代女性)
	興味を持ち入学を志す学生が増えるのは良いことだと思うが、インターネット上の情報が全てだと勘違いすると間違いを生む原因になるのでリテラシー教育をしっかりと行う必要がある(大学教員・30代男性)
動画投稿サイトにアップされたこの手の講義に関しては間違いも多い。どう対応するのか(大学教員・50代女性)	

・「塾や予備校で忙しい現代の子供たちにビデオ視聴の時間はない」「地道な反復学習こそ必要」「リテラシー教育も併せてすべき」「コンテンツの精度はどうコントロールするのか」といった様々な課題や懸念が挙げられた。

教育効果は期待できない	あまり教育効果は無いと考える(高校教員・60代男性)
	授業形態が変わっただけで、子ども達の学習時間が増えるとは思えません。もっと根深い部分で阻害されているように感じています(高校教員・50代男性)
	話題になっても効果があるかははっきりしていない(大学教員・40代女性)
	便利だがあまり教育的効果はない(大学教員・30代男性)
従来の授業が良い	従来の教育スタイルがよいと思う(高校教員・60代男性)
	フィードバックを得ることが困難なので、やはり通常授業の方がよい(大学教員・50代男性)
	教育は個人と個人の対面が基本中の基本。インターネットに対する期待はしない方がよいです。コスト削減など経営の論理に利用されるだけ(大学教員・30代男性)
教育の在り方が変わる	能力にない学生は卒業させないなど、本来の教育のあり方に移行する(大学教員・60代男性)
	大学に入学することの意義が薄くなる(大学教員・30代男性)

・「教育効果は期待できない」「従来の授業が良い」という意見も。

期待したい	興味・関心のある者がどんどん学習を進められる仕組みには大いに賛成(高校教員・40代男性)
	自宅でドクターコースまでしっかり取れるようなシステムを望んでいる(高校教員・60代男性)
	インターネットの普及により、興味関心のあることを探して講義を受けることができることを大いに期待しています(高校教員・50代男性)
	自分の学びなおしに利用したい。また、金銭的に進学を断念せざるを得ない生徒にとってはよい学びの場となるはずなので、積極的に推進して欲しい(高校教員・40代男性)
	教室内の授業・講義にとどまらず、公開性をもたせるという点に期待したい(大学教員・60代男性)
	人間の持つ、「より良いものを求める気持ち」が刺激され伸ばされる教育になってほしい。ITの発展などがその役に立つと良い(大学教員・50代女性)
	設備投資の負担は増えるが、授業はいずれにしても行う物なので教員の負担はあまり増える事なく大学の知名度、好感度上昇に寄与するので積極的に取り組みたい(大学教員・30代女性)
	日本の大学はレベルが低いので、どしどし導入すべき(大学教員・40代男性)
	目新しいものに飛びつくだけではなく、科学的見地から見た効果をしっかり測定する必要があると思うが、教育効果をあげる取り組みがいろいろと開発されることは基本的に望ましいことだと思う(大学教員・30代男性)
	自分の興味に合わせて好きなものを無料で視聴でき、大変良いと思う。やる気がある学生にとっては自分でどんどん進めることもできる。ただ、同じクラスに学力差やモチベーションの差がある場合、教員側としては非常に授業がしにくい(大学教員・30代女性)

アンケートから一部抜粋

- ・もっとも多かったのは前向きな意見や期待したいという声。
- ・十分な検討の上で、ITやインターネットを発展的教育に活用したいとする教員が多いようだ。

## 高校教員、大学教員に対する反転授業に関する意識調査報告書

---

---

2014年2月発行

発行： 株式会社デジタル・ナレッジ「eラーニング戦略研究所」  
〒110-0005 東京都台東区上野5丁目3番4号 eラーニング・ラボ 秋葉原

<http://Study.jp/esri>

Tel. 03-5846-2131 / Fax. 03-5846-2132

---

---

(禁無断転載・転用・複写)

eラーニング戦略研究所  
eLearning Strategy Research Institute

株式会社デジタル・ナレッジ <http://www.digital-knowledge.co.jp/>